

平成31年度

九州工業大学

第3年次編入学学生募集要項

工学部

情報工学部



国立大学法人

九州工業大学

<http://www.kyutech.ac.jp/>

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 九州工業大学のアドミッションポリシー | 3 |
| 1. 募集人員及び選抜方法 | 4 |
| 2. 出願資格 | 5 |
| 3. 編入学年次 | 5 |
| 4. 履修及び修業年限 | 5 |
| 5. 出願手続及び出願期間 | 6 |
| 6. 出願上の注意事項 | 8 |
| 7. 障害等を有する入学志願者の事前相談について | 9 |
| 8. 面接試験日及び試験場 | 10 |
| 9. 受験上の注意事項 | 11 |
| 10. 選考方法等 | 11 |
| 11. 合格者発表 | 13 |
| 12. 入学手続 | 14 |
| 13. 入学手続時の納付金 | 14 |
| 14. 個人情報の取扱いについて | 15 |
| 15. 入学試験成績等の開示について | 15 |
| 16. 第3年次編入学生の単位認定等について | 16 |
| 17. インターネット出願登録の手順について | 17 |
| 18. 入学試験に関する問合せ先 | 32 |
| 19. 安全保障輸出管理について | 32 |
| ◆各種の資格等 | 33 |
| ◆大学院 | 34 |
| ◆奨学金制度等 | 34 |
| ◆厚生施設 | 35 |
| ◆学生の国際交流 | 36 |
| ◆卒業後の就職状況 | 37 |
| ◆各学部のアドミッションポリシー | 38 |
| 工学部 | 38 |
| 情報工学部 | 38 |
| ◆各学部の案内 | 39 |
| 工学部 | 39 |
| 情報工学部 | 42 |
| ◆過去3か年の編入学試験実施状況 | 45 |
| ◆九州工業大学の所在地 | 47 |
| 工学部（戸畑キャンパス） | 48 |
| 情報工学部（飯塚キャンパス） | 49 |
| ◆平成32年度入学者選抜方法の変更について【予告】 | 50 |

九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

【技術者としての育成目標】

九州工業大学は、幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念とし、開学以来掲げてきた「技術に堪能なる士君子」、すなわち、深い専門性、幅広い知識と教養、説明・記述力を含むコミュニケーション力と技術者倫理を備え、情報・生命・環境・エネルギー・宇宙を含む新しい技術と科学の発展において、国際的に活躍できる専門技術者を育成します。

【求める学生】

理工学分野の基礎となる、数学、物理、化学、情報などの理数系科目に特に興味があり、これらの科目の基礎学力を持っているとともに、国際化に対応できるコミュニケーション能力の習得や様々な文化の理解に興味を持っている、次のような皆さんの入学を期待します。

1. 科学と技術に強い関心を持つ人
2. 物事をじっくり考え、興味深い現象の発見や問題解決に意欲を持つ人
3. 人類の幸福に役立つ、新しい技術・システムの創出に挑戦したい人
4. 国際社会や地球環境に配慮することの大切さを認識している人

【入学者の選抜方針】

入学者の選抜にあたっては、基本的には理工学の基本となる基礎学力と理数系の思考力・応用力を見ますが、異なる選抜方法によって、多様な資質を持つ皆さんを広く受け入れます。なお、一部の科目に学力の不足がある場合も、入学後の修学に支障を来たさぬよう、初年次教育などにおいて配慮します。

【第3年次編入学による受け入れ】

3年次からの修学に必要な基礎学力を備え、専門技術者への強い指向をもつ人を受け入れます。

1. 募集人員及び選抜方法

| 学部 | 学科 (コース) | 募集人員 | 選抜方法 (主な出願要件) |
|-------|--|------|--|
| 工学部 | 機械知能工学科 (機械工学コース) (宇宙工学コース) (知能制御工学コース) | 20名 | 推薦選抜 (出身学校長の推薦が必要) |
| | 建設社会工学科 (建築学コース) (都市環境デザインコース) | | |
| | 電気電子工学科 (電気工学コース) (電子工学コース) | | |
| | 応用化学科 | | |
| | マテリアル工学科 | | |
| | 総合システム工学科 | | |
| | 小計 | | |
| 情報工学部 | 知能情報工学科 | 7名 | 推薦選抜 (出身学校長の推薦が必要) 及び 一般選抜 (出身学校長の推薦を要しない) |
| | 電子情報工学科 | 8名 | |
| | システム創成情報工学科 | 8名 | |
| | 機械情報工学科 | 7名 | |
| | 生命情報工学科 | 5名 | |
| | 小計 | 35名 | |
| 合計 | | 55名 | |

- ※ 工学部と情報工学部の学科を両方志願することはできません。
- ※ 工学部の機械知能工学科、建設社会工学科又は電気電子工学科を志願する場合は、出願時に志望のコースを選択してください。
- ※ 情報工学部は選抜方法により出願資格が異なるので、注意してください (5ページの「2. 出願資格」参照)。
- ※ 情報工学部の募集人員は推薦選抜と一般選抜の合計です。
- ※ 合格者が募集人員に満たず、必要と認める場合には、欠員補充第2次募集を行います。
なお、募集を行う場合は、平成30年8月末までに発表しますので、本学ホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/examination/>) で確認してください。

2. 出願資格

| 学部 | 選抜方法 | 出願資格 |
|-------|------|---|
| 工学部 | 推薦選抜 | <p>合格した場合、入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物・学力優秀と認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>(2) 理工系短期大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身短期大学長が人物・学力優秀と認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>(注) 各高等専門学校及び各理工系短期大学から推薦できる人数は、同一志望コースにそれぞれ原則として2名以内とします。 ただし、機械工学系2コース(機械工学・宇宙工学)は合わせて4名以内とします。</p> |
| | 推薦選抜 | <p>合格した場合、入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者で、出身学校長が、人物・学力ともに優秀で本学における修学に適性があると認め、責任をもって推薦するもの</p> <p>(2) 短期大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者で、出身大学長が、人物・学力ともに優秀で本学における修学に適性があると認め、責任をもって推薦するもの</p> |
| 情報工学部 | 一般選抜 | <p>(1) 他の大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者又は平成31年3月までに2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は平成31年3月までに授与される見込みの者</p> <p>(3) 大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者</p> <p>(4) 高等専門学校、短期大学を卒業した者 (卒業見込みの者は含まない。)</p> <p>(5) 外国において、前記(1)～(4)のいずれかに相当する課程を修了した者</p> <p>(6) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校の専攻科の課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者</p> <p>(7) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者</p> <p>(8) その他、大学の3年次に編入学できる資格を有する者</p> <p>※ 上記(1)の「他の大学において62単位以上を平成31年3月までに修得見込みの者」が、入学試験に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は、合格を取り消します。</p> |

3. 編入学年次

第3年次とします。

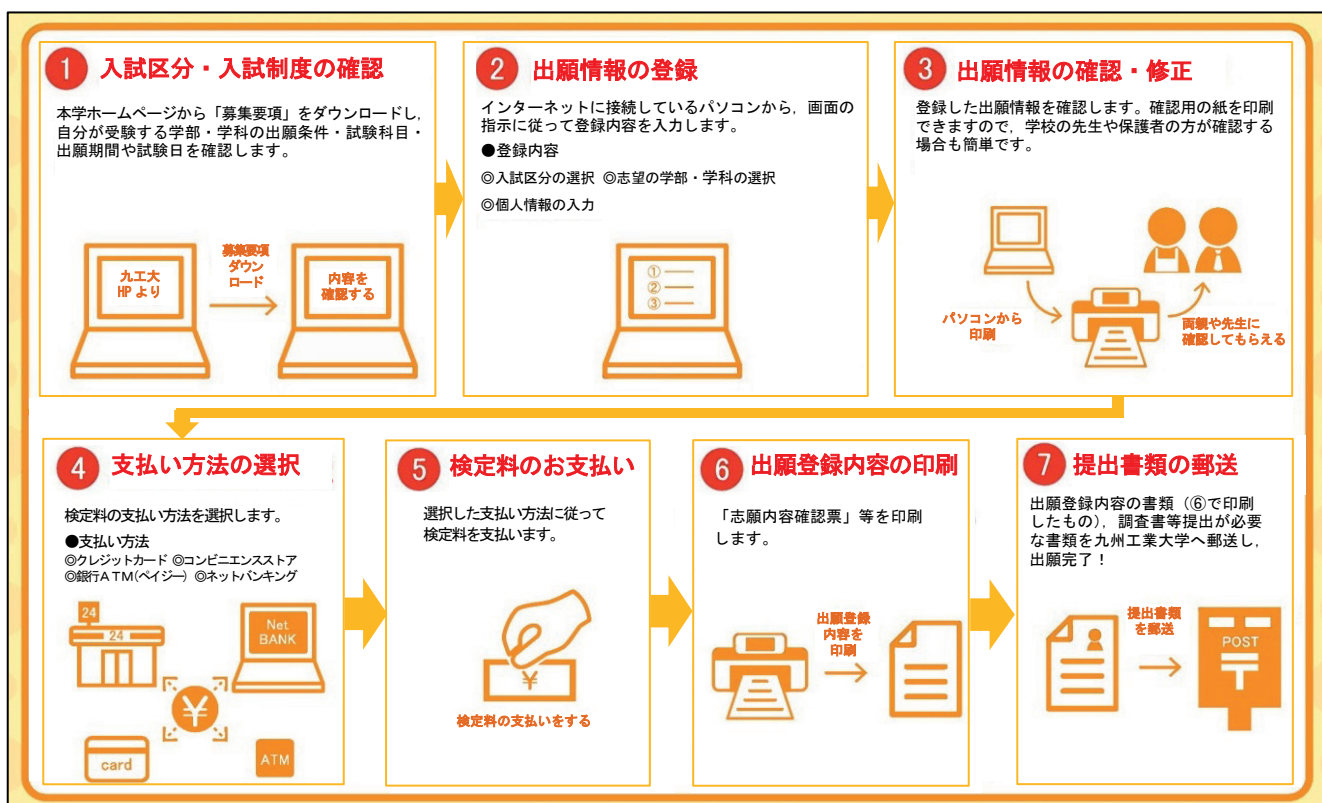
4. 履修及び修業年限

編入学者は、当該学部・学科で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

修業年限は2年、在学できる期間は4年以内とします。

5. 出願手続及び出願期間

【インターネットを利用した出願の流れ】



本学に入学を志願する者は、次の(1)～(5)により、手続きを行ってください。

(1) インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料 30,000 円 (別途、払込手数料 540 円) の支払い (以下「インターネット出願登録」という。) が必要となります。
 なお、インターネット出願登録の手順は、17ページのとおりです。
- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
 - ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行 ATM、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。
 - イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)
 - ウ A4サイズ用の紙が印刷できるプリンタ (モノクロ、カラーどちらでも可) が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷することになります。)
 - エ 7ページ(2)の提出書類のうち、「その他必要書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。
- ③ なお、自宅や在籍する学校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、入試課入試実施係 (093-884-3056) まで相談してください。

※ インターネット出願登録後、7ページ(2)の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。8ページ(3)の出願期間内に提出書類の郵送又は持参がない場合、出願未完了(登録データは無効)となりますので、注意してください。

※ 入学検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記<インターネット出願登録サイト>をご覧ください。

<インターネット出願登録サイト>

<http://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html>

(2) 提出書類

6 ページ (1) のインターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を整え提出してください。
選抜方法により出願書類が異なるので、十分注意してください。

[○ : 必ず提出するもの △ : 該当者のみ提出するもの × : 提出不要]

| 選抜方法 | 情報工学部 一般選抜 | | |
|---------------|--------------------------------|---|-------|
| | 情報工学部 推薦選抜 | | |
| | 工学部 推薦選抜 | | |
| インターネット出願登録内容 | ①志願内容確認票 (提出用) | インターネット出願登録後、印刷したもの。 | ○ ○ ○ |
| | ②写真票&受験票返送用切手貼付台紙 | インターネット出願登録後、印刷したものに以下のものを貼り付けてください。 ・用紙の上半分の写真票に、縦4cm×横3cmの写真(上半身・無帽・正面向きで3ヶ月以内に単身撮影し、裏面に志望学部及び氏名を記入したもの) ・用紙の下半分の受験票返送用切手貼付台紙に、工学部志願者は362円、情報工学部志願者は372円分の切手 | ○ ○ ○ |
| | ③宛名ラベル | 提出書類を郵送する場合は、インターネット出願登録後、印刷したものを封筒に貼り付けてください。(持参の場合は提出不要です。) | ○ ○ ○ |
| その他必要書類 | ④推薦書 | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、推薦書の様式は本学ホームページ (http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html) からダウンロードしてください。 | ○ ○ × |
| | ⑤調査書 | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、調査書の様式は本学ホームページ (http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html) からダウンロードしてください。 ただし、出身学校長の調査書が得られない場合は、成績証明書のみをもってこれに代えることができます。 | ○ ○ ○ |
| | ⑥成績証明書 | 出身学校長が作成し厳封したもの | ○ ○ ○ |
| | ⑦自己申告書 | 本学所定の様式に、情報工学部を志願する理由、入学してから勉強したいこと、自分の長所、高等専門学校・大学・短期大学等在学中に興味を持って学んだこと、得意な教科・科目、積極的に行った課外活動などを志願者本人が記入したもの。 なお、自己申告書の様式は「本学ホームページ (http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html) 」及び「出願登録の完了画面」のいずれかからダウンロードしてください。 | × ○ ○ |
| | ⑧TOEIC (IP 可) のスコアシート | 「TOEIC スコア公式認定証【Official Score Certificate】」または「TOEIC-IP スコアレポート」(以下「スコアシート」という。)の原本 ※ 生命情報工学科のみを志望する場合(第1志望を生命情報工学科とし、第2志望以下を志望しない場合)は、スコアシートの提出は必須ではありません。 ※ スコアシートは、TOEIC のテスト日が、出願期間最終日から遡って2年以内のものを有効とします。 ※ 提出されたスコアシートは、受験票送付時と同封して返却します。 | × ○ ○ |
| | ⑨最終出身学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 | 出身学校長が作成したもの ※ 情報工学部・一般選抜の出願資格(1)により出願する者は、在学又は在籍証明書(様式随意)を提出してください。 ※ 情報工学部・一般選抜の出願資格(6)により出願する者は、高等学校が発行する「修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準(平成28年文部科学省告示第63号)を満たしていることの証明書(様式随意)」も、あわせて提出してください。 ※ 情報工学部・一般選抜の出願資格(7)により出願する者は、専修学校が発行する「修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間が1,700時間以上の専門課程を修了又は修了見込みであることを証明する証明書(様式随意)」も、あわせて提出してください。 | ○ ○ ○ |
| | ⑩在留資格認定証明書等(外国人の志願者のみ) | 在留資格認定証明書(査証手続の済んだもの)の写し、又は住民票の写し | △ △ △ |

※ 上記以外の提出書類は、選考時の参考とはしませんので、提出しないでください。(ただし、本学が個別に指定した場合を除く。)

(3) 出願期間

出願期間（提出書類受付期間）は、次のとおりです。

| |
|-----------------------------|
| 平成30年5月14日（月）～5月18日（金）17時必着 |
|-----------------------------|

※ ただし、インターネット出願登録期間は、「平成30年5月7日（月）～5月18日（金）17時まで」としており、事前に登録可能です。

なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。
（出願期間内に提出書類を郵送又は持参することで完了します。）

(4) 提出先

| | |
|-------|---|
| 工学部 | 九州工業大学工学部教務係（戸畑キャンパス） 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332 |
| 情報工学部 | 九州工業大学情報工学部教務係（飯塚キャンパス） 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512 |

(5) 提出方法

・ 郵送の場合

市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼り付け、提出書類を入れて、「速達簡易書留郵便」で郵送してください。

（平成30年5月18日（金）17時必着）

・ 持参の場合

上記（4）の提出先に提出してください。（平成30年5月18日（金）17時必着）宛名ラベルの提出は不要です。

なお、受付時間は9時から17時までです。ただし、土・日・祝日は除きます。

6. 出願上の注意事項

(1) 情報工学部を志願する者のみ、志望学科を第3志望まで登録することができます。ただし、同一学科を重複して志望することはできません。また、第2志望又は第3志望の学科を「特定しない」とすることができます。

(2) 提出書類に記入もれ等不備がある場合は、受け付けられません。

(3) 受理した提出書類は、いかなる理由があっても返還できません。

(4) 既納の入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

ア 提出書類を郵送又は持参しなかった場合

※ インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。（出願期間内に提出書類を郵送又は持参することで完了します。）

イ 提出書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ 入学検定料免除の対象（平成29年7月九州北部豪雨、平成28年熊本地震又は東日本大震災の被災者で、一定の条件を満たすもの）として所定の手続きを行った場合

エ 誤って二重に支払った場合

オ 高等専門学校等の国費外国人留学生で、国費外国人留学生の奨学金支給期間の延長を申請し採用され、入学後も引き続き国費外国人留学生となる場合（出願時に国費外国人留学生であることの証明書（様式任意）の提出が必要となります。）

※ 上記オの場合は、入学時に検定料を返還します。

(5) 提出書類に虚偽の記載が認められた者は、合格者発表後でも合格を取り消すことがあります。

(6) 入学検定料を支払い、提出書類を郵送又は持参した後は、志望学部・学科・コースの変更はできません。(入学検定料のお支払い方法確認画面の「登録」ボタンを押す前であれば、インターネット出願登録サイトにて、志願者自身で変更できます。また、「登録」ボタンを押した後でも、入学検定料を支払う前であれば、再度出願登録を行うことで、変更できます。なお、入学検定料を支払った後で、提出書類を郵送又は持参する前に変更を希望する場合は、インターネット出願登録後に印刷した「志願内容確認票(提出用)」のチェック欄を確認してください。)

(7) 受験票は、次の期日までに速達郵便で発送します。

| | |
|-------|---|
| 工学部 | 平成30年5月23日(水)頃 ※ 平成30年5月29日(火)までに届かない場合は、工学部教務係まで問い合わせてください。 |
| 情報工学部 | 試験日の約1週間前 ※ 平成30年6月4日(月)までに届かない場合は、情報工学部教務係まで問い合わせてください。 |

(8) 出願後、現住所及び電話番号に変更があったときは、速やかに8ページの「(4) 提出先」(志望学部)まで連絡してください。

(9) 本学に入学を志願する者で、障害等がある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。

詳細は、下記の「7. 障害等を有する入学志願者の事前相談について」を参照してください。

7. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害(下表参照)等がある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、代筆解答を希望するものは、できるだけ早い時期に事前相談をしてください。

| 区 分 | 障 害 の 程 度 |
|-----------------------|--|
| 視覚障害者 (強度の弱視者を含む。) | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも |
| 聴覚障害者 (強度の難聴者を含む。) | 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも |
| 肢体不自由者 | 1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも |
| 病弱者 (身体虚弱者を含む。) | 1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも |

※ 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠

(注) 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

(1) 事前相談の期間

原則として平成30年4月27日(金)まで

なお、相談の期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合にも、下記(3)の連絡先に問い合わせてください。

相談の内容や時期によっては、本学の試験日までに対応できず、希望する配慮を受けられないことがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

(2) 事前相談の方法

本学所定の事前相談申請書(健康診断書等必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

なお、事前相談申請書は、下記(3)の連絡先に請求してください。

(3) 連絡先

九州工業大学入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056

8. 面接試験日及び試験場

(1) 日 時

| | |
|-------|--|
| 工学部 | 平成30年6月7日(木) (注) 集合時間は、受験票送付時に通知します。 |
| 情報工学部 | 平成30年6月7日(木)又は6月8日(金)のいずれかの日 (注) 試験日及び集合時間は、受験票送付時に通知します。 |

(2) 試験場

| | |
|-------|--|
| 工学部 | 九州工業大学工学部(戸畑キャンパス) 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332 (集合場所 九州工業大学工学部記念講堂 47・48ページの地図を参照してください。) |
| 情報工学部 | 九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス) 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512 (集合場所 九州工業大学情報工学部AV講演室 47・49ページの地図を参照してください。) |

9. 受験上の注意事項

- (1) 受験の際には、本学の受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験当日は、必ず指定された集合時間に遅れないように注意してください。30分以上の遅刻者は面接試験を受けられなくなる場合があります。
- (3) カンニング、監督者の指示に従わないこと、迷惑行為などは不正行為になります。不正行為と認められた場合は、直ちに受験を停止させ、退出を命じます。この場合、当該受験は無効とします。

10. 選考方法等

【工学部】

(1) 選考方法

| | |
|--------------|--|
| 推薦 選 抜 | 入学者の選考は、出身学校長からの推薦書、調査書及び面接試験の結果を総合して行います。調査書（推薦書を含む）は点数化して評価します。 各学科で行われる面接試験には、基礎学力（数学・理科）や工学に対する適性等に関する口頭試問が含まれる場合があります。 |
|--------------|--|

(2) 採点・評価基準と合否判定基準

| | |
|---------|--|
| 採点・評価基準 | 【一般的基準】 ①調査書所見 ・面接時の質問項目として反映させます。 ②面接のチェックポイント ・理解力（理解度、論理性、計算力、表現力を含みます。） ・工学に対する適性等（知的な好奇心、工学に対する熱意、専門に対する適性等を含みます。） 【調査書点】 ・調査書を点数化します。 【配点】 ・調査書点 400 点満点、面接点 600 点満点、合計 1,000 点満点で評価します。 |
| 合否判定基準 | 面接と調査書（推薦書を含む）の点数を合計し、総合点の高い順とします。 |

【情報工学部】

(1) 選考方法

| | | |
|------|--|--|
| 推薦選抜 | <p>入学者の選考は、以下に示す各学科の選考方法に従い、原則として第一志望学科（以下「学科」という。）で行います。</p> <p>ただし、学科によって、5ページの2. 出願資格（1）に該当する者〔高等専門学校の卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者〕は、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。書類のみの選考によって面接試験を免除した者には、受験票送付時に面接試験を免除する旨を通知します。</p> | |
| | 知能情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「情報基礎」の口頭試問を行います。</p> |
| | 電子情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理」の口頭試問を行います。</p> <p>ただし、本学科は、出願資格（1）に該当する者〔高等専門学校の卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者〕のうち、在学中の成績が優秀で、総合力が優れている者は、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。</p> |
| | システム創成情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学力確認のため学習範囲内の科目の概要を口頭説明させる口頭試問を行います。</p> <p>ただし、本学科は、出願資格（1）に該当する者〔高等専門学校の卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者〕のうち、在学中の成績が上位に属する者は、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。</p> |
| | 機械情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理」の口頭試問を行います。</p> <p>ただし、本学科は、出願資格（1）に該当する者〔高等専門学校の卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者〕のうち、在学中の成績が優秀で、総合力が優れている者は、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。</p> |
| | 生命情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学又は理科」、「英語」の口頭試問を行います。</p> <p>TOEIC（IP可）のスコアシートを提出した者については、「英語」の口頭試問を免除することがあります。</p> <p>ただし、本学科は、出願資格（1）に該当する者〔高等専門学校の卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者〕のうち、在学中の成績が優秀で、総合力が優れている者は、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。</p> |

| | | |
|---------|---|--|
| 一般選抜 | <p>入学者の選考は、以下に示す各学科の選考方法に従い、原則として第一志望学科（以下「学科」という。）で行います。</p> | |
| | 知能情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲及び学力の試問を行います。</p> <p>また、上記「推薦選抜」の各学科の欄に記述している科目の口頭試問を行います。</p> |
| | 電子情報工学科 | |
| | システム創成情報工学科 | |
| | 機械情報工学科 | |
| 生命情報工学科 | <p>入学者の選考は、調査書、自己申告書及び面接試験の結果を総合して行います。</p> <p>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲及び学力の試問を行います。</p> <p>また、上記「推薦選抜」の生命情報工学科の欄に記述している科目の口頭試問を行います。</p> <p>なお、TOEIC（IP可）のスコアシートを提出した者については、英語の口頭試問を免除することがあります。</p> | |

(2) 採点・評価基準と合否判定基準

| | |
|---------|---|
| 採点・評価基準 | <p>【一般的基準】</p> <p>①調査書所見及び自己申告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接時の質問項目として反映させます。 <p>②面接のチェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力（理解度，論理性，計算力，表現力を含みます。） ・情報工学に対する適性等（知的好奇心，情報工学に対する熱意，専門に対する適性を含みます。） ・語学力（TOEIC（IP可）スコアを換算して評価します。（注）） <p>【調査書点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書を点数化します。 <p>【自己申告書点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己申告書を点数化します。 <p>【配点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書点200点満点，自己申告書点100点満点，面接点700点満点，合計1,000点満点で評価します。 <p>ただし，「推薦選抜」の出願資格（1）に該当する者で，書類のみによって選考する場合は，調査書点200点満点，自己申告書点100点満点，合計300点満点で評価します。</p> |
| 合否判定基準 | <p>【面接+調査書+自己申告書】</p> <p>（書類のみの選考の場合は，調査書+自己申告書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合点の高い順とします。 |

(注) 生命情報工学科を志望し TOEIC(IP 可) のスコアシートを提出した者で，英語の口頭試問を行うもの，および生命情報工学科のみを志望する者で，TOEIC(IP 可) のスコアシートを提出しないものについては，英語の口頭試問により評価します。

1.1. 合格者発表

(1) 日 時

平成30年6月18日（月） 午前10時

(2) 方 法

合格者には「合格通知書」をもって通知します。電話等による合否等の問合せには応じられません。

また，同日午前10時頃より，本学のホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載します。

なお，「推薦選抜」の受験者については，推薦学校長に文書で被推薦者の合否を通知します。

(3) 合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。

(例) 吉 → 吉 廣 → 廣 角 → 角

12. 入学手続

(1) 手続期間

推薦選抜（工学部，情報工学部）合格者

平成31年2月18日（月）
平成31年2月19日（火） } の2日間

（受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00）

※ 郵送で入学手続を行う場合は、「速達書留郵便」とし、平成31年2月19日（火）17時までに下記（2）の手続場所に必着するよう郵送してください。

書類を持参して入学手続を行う場合は、下記（2）の手続場所に提出してください。

一般選抜（情報工学部）合格者

平成31年3月26日（火）（受付時間 9:00～12:00 13:00～16:30）
平成31年3月27日（水）（受付時間 9:00～12:00） } の2日間

※ 郵送で入学手続を行う場合は、「速達書留郵便」とし、平成31年3月26日（火）16時30分までに下記（2）の手続場所に必着するよう郵送してください。

書類を持参して入学手続を行う場合は、下記（2）の手続場所に提出してください。

(2) 手続場所

| | |
|-------|---|
| 工学部 | 九州工業大学工学部教務係（戸畑キャンパス） 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332 |
| 情報工学部 | 九州工業大学情報工学部教務係（飯塚キャンパス） 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512 |

(3) 留意事項

- ① 合格者には、合格通知書送付時に「入学確約書」の用紙を同封しますので、平成30年6月29日（金）までに提出してください。期日までに入学確約書を提出しない者は、入学する意志がないものとして取り扱います。
- ② 入学確約書を提出した者には、入学手続書類を平成31年1月下旬に郵送しますので、期間内に入学手続を行ってください。期間内に手続を行わない者は、編入学試験合格者としての権利を消失します。

13. 入学手続時の納付金

| | |
|--|----------------|
| 入 学 料 | 282,000 円（予定額） |
| 諸 納 金（後援会会費，責善会会費，明専会会費，学生教育研究災害傷害保険費） | 52,750 円（予定額） |

- (注) ① 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 授業料〔前期分・後期分とも各267,900円（予定額）〕については、入学手続時に申請していただく銀行等又はゆうちょ銀行の指定口座から引き落とします。（前期は平成31年4月，後期は平成31年10月の予定）
- ③ 既納の入学料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。
- ア 入学手続をしなかった場合
イ 誤って二重に支払った場合
- ④ 入学手続を完了した者が、平成31年3月31日（日）までに入学を辞退した場合には、申し出により既納の諸納金相当額を返還します。ただし、既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。

- ⑤ 入学料、授業料及び諸納金については予定額であり、平成31年1月下旬に入学手続書類を送付する際に確定額を通知します。
- ⑥ 学費支弁が困難な者に対し、入学料の全額若しくは半額を免除又は徴収猶予することがあります。
- また、経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はその他やむを得ない事由があると認められる場合は、授業料の全額若しくは半額を免除又は徴収猶予することがあります。（35ページ参照）
- 詳細については、平成31年1月下旬に郵送する入学手続書類でお知らせします。

14. 個人情報の取扱いについて

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 入学者選抜で利用した成績等を、入学後の学習指導等で利用します。
- (2) 高等専門学校等の成績を、3年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
- (3) 入学者選抜で利用した成績等の個人情報を、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

※ 本学が取得した個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

15. 入学試験成績等の開示について

平成31年度編入学試験に係る受験者の個人成績等の開示を、下記のとおり行います。

| | |
|------|--|
| 開示対象 | ①入学試験成績 ②出身学校長作成の調査書 |
| 開示内容 | ①入学試験成績 【工学部】 合格者：総得点を開示します。 不合格者：合格最低点から10点きざみのランクで開示します。 【情報工学部】 合格者：順位を開示します。 不合格者：合格最低順位から10位きざみのランクで開示します。 ②出身学校長作成の調査書 客観的な数字、成績、出席の記録及びクラブ活動等の記録を開示します。 ただし、「学習についての所見」等、教員が自由に記述した部分を除きます。 |
| 申込期間 | 平成30年9月3日（月）から平成30年9月14日（金）まで ただし、土・日は除きます。 |
| 請求者 | 受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認められません。） |
| 申込方法 | 本学所定の申込用紙を、入試課窓口又はホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/examination/ 平成30年8月掲載予定）で入手し、九州工業大学受験票（コピー不可）及び受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し392円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号120mm×235mm）を添付のうえ、入試課窓口を持参して申し込んでください。 なお、遠隔地等のため来学が困難な場合は、郵送でも申し込みできます。 ただし、郵送の場合は、平成30年9月14日（金）17時までに到着したものに限り受理します。 |
| 開示方法 | 受付から約20日以内に、受験者本人へ簡易書留郵便で郵送します。 |
| その他 | 平成30年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。 |

※ 入試情報の開示に関する詳細については、入試課入試実施係（電話：093-884-3056）にお問い合わせください。

16. 第3年次編入学生の単位認定等について

【工学部】

第3年次編入学生に対しては、工学部学修細則に基づいて、単位認定が行われます。

単位認定は、入学する学科が開設している授業科目の内容と高等専門学校や短期大学（以下「高専等」という。）において修得した科目の内容の同等性があるものについて行われます。

したがって、卒業要件を満たすために必要となる授業科目等は、入学する学科、高専等において修得した科目、認定される単位数等の違いにより、各編入学生において異なります。

詳細については、9月中旬頃に「編入学試験合格者の単位認定について」を送付します。

【情報工学部】

第3年次編入学生に対しては、編入学生に適用される単位認定の基準に基づいて、履修済科目の単位認定が行われます。したがって、編入学生の認定される単位数は、高等専門学校や大学において履修済である科目や、各学科で決められたカリキュラムにおいて認定される単位数の違いにより、各編入学生において異なります。詳細については、九州工業大学情報工学部のホームページ (<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/admission/procedure-3rd/>) を参照してください。

なお、情報工学部は、平成17年度卒業生より J A B E E（日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。

17. インターネット出願登録の手順について

インターネット出願登録を始める場合は、インターネット出願登録サイト (<http://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html>) にアクセスし、トップページ（ガイダンス画面）上部にある



ボタンをクリックして、画面に従い、選択及び入力してください。



このスクリーンショットは、九州工業大学のインターネット出願登録サイトのトップページを示しています。ページの上部には「ネット出願」のタブと「国立大学法人 九州工業大学」のロゴがあります。右側には「申込確認」と「出願手続き」のボタンがあり、「出願手続き」ボタンは赤い円で囲まれています。ナビゲーションメニューには「利用案内 手続きを始める」、「学生募集要項 出願書類」、「出願方法」、「よくある質問 お問い合わせ」があります。中央には「重要なお知らせ」のボックスがあり、「(お知らせはありません)」と表示されています。下部には「利用案内・手続きを始める」のセクションがあり、「出願登録利用案内」のサブセクションがあります。最初のメッセージには、「初めて出願を行う方は、以下の手順をご確認の上、「個人情報の取り扱いについて」の内容にご同意いただき、**出願手続き** ボタンより出願手続きを行ってください。」と記載されています。

Step1 試験区分の選択



ボタンをクリックすると Step1 の画面が開きます。

受験する「試験区分」を選択して **次へ** をクリックしてください。



このスクリーンショットは、試験区分の選択画面を示しています。ページの上部には「国立大学法人 九州工業大学」のロゴと「小」「中」「大」のサイズ設定ボタン、「薄い」「標準」「濃い」の表示設定ボタンがあります。中央には、試験区分の選択から「申込完了」までの進捗フローがあり、「試験区分の選択」が現在選択されている状態です。下部には「試験区分の選択」のセクションがあり、「第3年次編入学試験」が選択されています。その下に「入学検定料免除（平成28年熊本地震又は東日本大震災等の被災者で、一定の条件を満たすもの）を申請しましたか？」という質問があり、「はい」が選択されています。さらに、平成29年7月九州北部豪雨、平成28年熊本地震又は東日本大震災で被災された方に対する入学検定料免除の特例措置に関する説明と、希望者は必ず以下URLを参照のうえ、インターネット出願登録の前に免除の申請を行ってください。と記載されています。URLは <http://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/> です。申請が認められた後、パスワードが通知されますので、画面の質問に対し「はい」を選択してパスワードを入力してください。と記載されています。パスワードの入力欄と「次へ」ボタンも表示されています。

Step2 志望学部・学科等の選択

Step1 で選択した「試験区分」が表示されます。

必要事項を入力・選択してください。

(試験区分により入力する項目は異なります)

入力し終わったら、**次へ** をクリックしてください。

前の画面に戻る場合は、**戻る** をクリックしてください。

The screenshot shows a multi-step application process flow at the top. The steps are: 試験区分の選択, 志望学部等の選択 (highlighted), 個人情報の入力, 入力内容の確認, アンケートの入力, アンケートの確認, お支払い方法確認, and 申込完了. Below the flow, there are buttons for '戻る' (Back) and '次へ' (Next). A note states: ※アンケートの入力はありません。 (No questionnaire input is required).

The main content area is titled '志望学部等の選択' (Faculty Selection). It shows the user's current selection: 第3年次編入学 工学部 (6月7日(木)). Under the '志望学科選択' (Faculty Selection) section, there are six options, each with a '選択' (Select) button:

| | | | |
|--------------|----|---------------|----|
| 工学部 機械知能工学科 | 選択 | 工学部 建設社会工学科 | 選択 |
| 工学部 電気電子工学科 | 選択 | 工学部 応用化学科 | 選択 |
| 工学部 マテリアル工学科 | 選択 | 工学部 総合システム工学科 | 選択 |

Below this, the '試験場' (Exam Venue) is listed as 工学部(戸畑キャンパス).

▼ 第3年次編入学 情報工学部 推薦選抜 6月 7日(木) ~ 6月 8日(金)

志望学科選択 ※ クリックした順番が志望順となります。

| | |
|---|--|
| 情報工学部 知能情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 電子情報工学科 <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 システム創成情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 機械情報工学科 <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 生命情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 第2志望を選択しない <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 第3志望を選択しない <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 第2志望を特定しない <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 第3志望を特定しない <input type="button" value="選択"/> | |

試験場

情報工学部(飯塚キャンパス)

▼ 第3年次編入学 情報工学部 一般選抜 6月 7日(木) ~ 6月 8日(金)

志望学科選択 ※ クリックした順番が志望順となります。

| | |
|---|--|
| 情報工学部 知能情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 電子情報工学科 <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 システム創成情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 機械情報工学科 <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 生命情報工学科 <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 第2志望を選択しない <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 第3志望を選択しない <input type="button" value="選択"/> | 情報工学部 第2志望を特定しない <input type="button" value="選択"/> |
| 情報工学部 第3志望を特定しない <input type="button" value="選択"/> | |

試験場

情報工学部(飯塚キャンパス)

TOEIC(IP可) ※情報工学部の志望者のみ入力してください。

| | |
|--------|---|
| スコア | <input type="text"/> |
| スコアシート | <input type="checkbox"/> 提出しません ※第1志望を生命情報工学科、かつ、第2志望以下を志望しない場合のみ、チェックを入れることができます。 |

Step3 個人情報入力

ここで個人情報等を入力します。

入力し終わったら、**次へ** をクリックしてください。

前の画面に戻る場合は、**戻る** をクリックしてください。

必須項目に入力漏れがある場合はエラーとなりますので、再入力してください。

★必須項目は試験区分によって異なりますので画面にしたがって入力してください。

試験区分の選択 > 志望学部等の選択 > **個人情報の入力** > 入力内容の確認 > アンケートの入力 > アンケートの確認 > お支払い方法確認 > 申込完了

※アンケートの入力はありません。

戻る 次へ

個人情報の入力

以下に漏れなく入力してください。 **必須** は必須項目です。

基本情報

氏名(フリガナ) **必須** セイ キュウコウダイ
メイ タロウ (全角)

氏名(漢字) **必須** 姓 九工大
名 太郎 (全角)
※氏名や住所などの個人情報を入力する際に、漢字が登録エラーになる場合は代替の文字を入力してください。
なお、合格通知書等については、そのまま表記されますが、ご了承ください。
例) 高木→高木 山崎→山崎

ローマ字氏名 **必須** LAST NAME (姓) kyukodai
FIRST NAME (名) taro (半角) ※一部大文字に自動変換されます

生年月日 **必須** 1999 - 12 - 31 (平成一年一月一日生まれ) 満一歳 (半角)

性別 **必須** 男性 女性

本人の連絡先 ※住所は合格書類と受験票の送付先になります。

郵便番号 **必須** 804 - 8550 (半角)

都道府県 **必須** 選択してください

市市区 **必須** 北九州市戸畑区 (全角)

町番地 **必須** 仙水町1-1 (全角)

マンション・アパート名・号室 (全角)

電話番号
 ※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。(両方ある場合は両方入力してください。)
 ※確実に連絡のとれる番号を入力してください。

自宅 093 - 884 - 3056 (半角) **必須**
 携帯 080 - 1234 - 5678 (半角)

メールアドレス
 ※メールアドレスを入力後、「メール受信確認」ボタンをクリックし、システムからのメールが受信できることを必ず確認してください。
 ※フリーメールやスマートフォン・携帯電話のメールアドレスで受信できなかった場合は、インターネット出願ガイダンスの「よくある質問」を参照してください。

sample@example.com (半角)
必須 確認のためもう一度入力してください。
 sample@example.com

緊急時の連絡先 (保護者等の情報)

住所・連絡先を転記 保護者等の情報へ転記 (上記で入力した住所・連絡先と同一場合はチェックを入れてください。)

氏名 **必須** 姓 九工大
 名 一郎

志願者との続柄 **必須** 父 (全角)

郵便番号 **必須** 804 - 8550 (半角)

都道府県 **必須** 選択してください

市市区 **必須** 北九州市戸畑区 (全角)

町番地 **必須** 仙水町1-1 (全角)

マンション・アパート名・号室 (全角)

電話番号
 ※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。(両方ある場合は両方入力してください。)
 ※確実に連絡のとれる番号を入力してください。

自宅 093 - 884 - 3056 (半角) **必須**
 携帯 080 - 1234 - 5678 (半角)

出身学校（出願要件に該当する在籍中の学校または最終学歴について入力してください。）

国立・公立・私立 **必須** 選択してください▼

学校名 **必須**

学校種別 **必須** 選択してください▼

学部・学科 **必須**

卒業年 **必須** 選択してください▼ 年 月 選択してください▼

中学校卒業後の学歴 ※入力欄が足りない場合は、適宜複数紙に記入して出願書類と共に送付してください。

所在地・都市名 **必須**

学校名 **必須**

在学期間 **必須** 年

中学校卒業後の学歴(1
つ目)

入学等年月 **必須** 年 月

入学等区分 **必須** 選択してください▼

卒業等年月 **必須** 年 月

卒業等区分 **必須** 選択してください▼

所在地・都市名

学校名

在学期間 年

中学校卒業後の学歴(2
つ目)

入学等年月
卒業等区分 年 月
選択してください▼

所在地・都市名

学校名

在学期間 年

中学校卒業後の学歴(3
つ目)

入学等年月 年 月

入学等区分

卒業等年月 年 月

卒業等区分

戻る

次へ

Step4 出願内容確認

step1~3 で入力したすべての内容の確認です。

ここまでに入力した内容の志願内容確認票（確認用）を印刷できますので、必要に応じて印刷し、保護者の方や学校の先生などに確認してもらってください。内容を訂正する場合は **戻る** をクリックして、訂正してください。登録内容に間違いがなければ、**次へ** をクリックしてください。

【登録の中断と再開について】

ここまでに入力・選択した内容は自動的に一時保存されています。保護者の方、学校の先生などに確認を依頼する間、ブラウザを閉じてもここから入力を再開できます。再開には画面に表示されている受付番号及びセキュリティコードが必要になりますので、ブラウザを閉じる前に必ずメモを取ってください。

試験区分の選択 > 志望学部等の選択 > 個人情報を入力 > **入力内容の確認** > アンケートの入力 > アンケートの確認 > お支払い方法確認 > 申込完了 / 仮申込完了 / 仮申込完了 / 仮申込完了

戻る 次へ

登録内容に誤りがないか、確認しましたか？
誤りがあった場合は、「戻る」ボタンを押して登録内容を修正してください。
誤りがないことを確認できた場合は、「次へ」ボタンを押して登録の続きに進んでください。

ここまでの出願データを一時保存しました。

この画面で出願手続を中断することができます。
保護者または先生の確認が必要な場合は「志願内容確認票（検定料払込前）」の印刷をご利用ください。
手続の再開はガイダンス画面上部に表示されている「申込確認」画面から行えます。（この画面から再開します）

受付番号及びセキュリティコードは保存した情報の確認やお問い合わせに必要になりますので、必ずメモを取ってください。

| | |
|-----------|-------|
| 受付番号 | 00187 |
| セキュリティコード | 9432 |

志願内容確認票（検定料払込前）の印刷

入力内容の確認

| | | | |
|----------|---------|------|-----------|
| 入学料定料総合計 | ¥30,000 | 試験区分 | 第3年次編入学試験 |
|----------|---------|------|-----------|

出願情報

| | 試験日程 | 学科内容 | コース | 試験場 |
|-------------|--------------|-------------|---------|--------------|
| 第3年次編入学 工学部 | 第1志望 6月7日(木) | 工学部 機械知能工学科 | 機械工学コース | 工学部(戸畑キャンパス) |

TOEIC(IP可)

スコア

スコアシート

23

基本情報

氏名（フリガナ） **必須** キュウコウダイ タロウ

氏名（漢字） **必須** 九工大 太郎

ローマ字氏名 **必須** KYUKODAI Taro

生年月日 **必須** 1999年12月31日（平成11年12月31日生まれ）

性別 **必須** 男性

本人の連絡先 ※住所は資格申請と登録票の送付先になります。

郵便番号 **必須** 804-8550

都道府県 **必須** 福岡県

市郡区 **必須** 北九州市戸畑区

町番地 **必須** 仙水町1-1

マンション・アパート名・号室

電話番号
※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。（両方ある場合は両方入力してください。）
※確実に連絡のとれる番号を入力してください。

自宅 093-884-3056
携帯

メールアドレス
※メールアドレスを入力後、「メール受信確認」ボタンをクリックし、システムからのメールが受信できることを必ず確認してください。
※フリーメールやスマートフォン・携帯電話のメールアドレスで受信できなかった場合は、インターネット回線ガイダンスの「よくある質問」を参照してください。

必須 sample@example.com

緊急時の連絡先（保護者等の情報）

住所・連絡先を転記 保護者等の情報へ転記

氏名 **必須** 九工大 一郎

志願者との続柄 **必須** 父

郵便番号 **必須** 804-8550

都道府県 **必須** 福岡県

市郡区 **必須** 北九州市戸畑区

町番地 **必須** 仙水町1-1

マンション・アパート名・号室

電話番号
※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。（両方ある場合は両方入力してください。）
※確実に連絡のとれる番号を入力してください。

自宅 093-884-3056
携帯

出身学校（出願要件に該当する在籍中の学校または最終学歴について入力してください。）

| | | |
|----------|----|-----------------|
| 国立・公立・私立 | 必須 | 国立 |
| 学校名 | 必須 | 〇〇〇〇 |
| 学校種別 | 必須 | 高等専門学校 |
| 学部・学科 | 必須 | 機械工学科 |
| 卒業年 | 必須 | 2018年3月卒業（修了）見込 |

中学校卒業後の学歴 ※入力欄が足りない場合は、適当な別紙に記入して出願書類と共に送付してください。

| | | | |
|--------------------|--------------------|---------|------------|
| 中学校卒業後の学歴(1 つ目) | 所在地・都市名 | 必須 | 福岡県北九州市 |
| | 学校名 | 必須 | 〇〇〇〇高等専門学校 |
| | 在学期間 | 必須 | 5 |
| | 入学年 | 必須 | 2013年04月 |
| | 入学区分 | 必須 | 入学 |
| | 卒業年 | 必須 | 2016年03月 |
| | 卒業区分 | 必須 | 卒業（修了） |
| | 中学校卒業後の学歴(2 つ目) | 所在地・都市名 | |
| 学校名 | | | |
| 在学期間 | | | |
| 入学年 | | | |
| 入学区分 | | | |
| 卒業年 | | | |
| 卒業区分 | | | |
| 中学校卒業後の学歴(3 つ目) | 所在地・都市名 | | |
| | 学校名 | | |
| | 在学期間 | | |
| | 入学年 | | |
| | 入学区分 | | |
| | 卒業年 | | |
| | 卒業区分 | | |

登録内容に誤りがないか、確認しましたか？
誤りがあった場合は、「戻る」ボタンを押して登録内容を修正してください。
誤りがないことを確認できた場合は、「次へ」ボタンを押して登録の続きに進んでください。

戻る 次へ

【登録の中断と再開について】

再開する場合は、インターネット出願登録サイト上部の **申込確認** ボタンを押してください。申込確認画面で氏名、生年月日、受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると、対象の申込データが表示されます。各種確認欄に表示されている「出願再開」ボタンを押すと、Step4 の出願内容確認画面から登録を再開できます。

※受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

ネット出願

国立大学法人
九州工業大学

申込確認 出願手続き

利用案内
手続きを始める

学生募集要項
出願書類

出願方法

よくある質問
お問い合わせ



申し込み確認

全て入力（選択）して「次へ」ボタンをクリックしてください。

氏名（フリガナ） セイ メイ (全角)

生年月日 年 月 日 (平成11年12月31日生まれ) (半角)

受付番号 (半角)

セキュリティコード (半角)

受付番号又はセキュリティコードを忘れた方は [こちら](#) から

終了 **次へ**



申し込み一覧

氏名（フリガナ）：キュウコウダイ タロウ
生年月日：1997/12/31（平成9年12月31日生まれ）
受付番号：0075
セキュリティコード：1234

| 受付番号 | 出願日時 | 試験区分 | お支払い方法 | 各種確認 |
|-------|------------------|-----------|---------------------------------|--|
| 00151 | 2018/02/09 11:32 | 第3年次編入学試験 | 一時保存 お支払い期限 2017/02/01 17:00 | <p>出願再開</p> <p>志願内容確認票(検定料 払込前)</p> <p>出願取消</p> |

追加出願 ログアウト

Step5 お支払い方法の確認

事前に入学検定料のお支払い方法を確認のうえ、[登録](#) をクリックしてください。お支払い手続きの内容は、次の画面で表示されます。

前の画面に戻る場合は、[戻る](#) をクリックしてください。

なお、[登録](#) をクリックすると、今回登録されたデータ上での変更ができなくなります。

試験区分の選択 > 志望学部等の選択 > 個人情報の入力 > 入力内容の確認 > アンケートの入力 > アンケートの確認 > **お支払い方法確認** > 申込完了 / 仮申込完了 / 仮申込完了 / 仮申込完了

※アンケートの入力はありません。

[戻る](#) [登録](#)

お支払い方法確認

事前に入学検定料のお支払い方法を確認してください。お支払い手続きの内容は、次の画面で表示されます。
※「登録」ボタンを押すと、今回登録されたデータ上での変更ができなくなります。

クレジットカード決済

下記のクレジットカードよりお支払いが可能です。



コンビニエンスストア決済

下記のコンビニエンスストアよりお支払いが可能です。
※現金のみの取扱いとなります。支払金額の上限は30万円です。



銀行ATM（ペイジー）

下記の他にPay-easy対応の金融機関をご利用いただけます
※現金での支払金額の上限は10万円です。10万円を超える支払いはキャッシュカードが必要です。



ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。
ネットバンキングによるお支払いは、登録完了時に発行されるURL（検定料のお支払いサイト）経由からのみ行うことができ、その他サービスからはご利用いただけません。
※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。



「2018/05/18 17:00」までにお支払いください。

| | |
|--------|---|
| お支払い金額 | 合計 ¥30,540 (¥30,000 (入学検定料) + ¥540 (手数料)) |
|--------|---|

[戻る](#) [登録](#)

Step6 入学検定料のお支払い

「1. 入学検定料のお支払い」に記載されている URL「検定料のお支払いサイト（決済代行業者の専用サイト）」にアクセスし、29 ページの「検定料支払い方法のご案内」に従って、入学検定料をお支払いください。

試験区分の選択

志望学部等の選択

個人情報の入力

入力内容の確認

アンケートの入力

アンケートの確認

お支払い方法確認

申込完了

仮申込完了

仮申込完了

仮申込完了

※アンケートの入力はありません。

| 出願登録完了

出願はまだ完了していません。

受付番号及びセキュリティコードは出願した情報の確認やお問い合わせに必要になりますので、必ずメモを取ってください。

| | |
|-----------|-------|
| 受付番号 | 00184 |
| セキュリティコード | 3213 |

続いて下記に従って出願手を完了してください。

1. 入学検定料のお支払い

下記「検定料のお支払いサイト」にてお支払い方法を選択の上、画面に従い検定料をお支払いください。

<https://sandbox.paygent.co.jp/v/top?type=&tid=T147201800000000000000027&mid=36883&hv=7d73f5bdb7d93959f50665aadb1856d76951530e31f5730d56a65ba548528e686368cdcb>

2. 必要書類の郵送 詳細についてはこちらから。


下記書類を準備し、大学へ郵送してください。

| No | 必要書類 | 備考 | |
|----|-----------------------|---|----------------------|
| 1 | 志願内容確認票（提出用） | 出願内容に間違いがないか確認してください。 | 入学検定料のお支払い後に印刷ができます。 |
| 2 | 推薦書（編入学出願用） | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したものを。なお、推薦書の様式は本学ホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/examination/s/transfer/ ）からダウンロードしてください。 | |
| 3 | 調査書 | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したものを。なお、調査書の様式は本学ホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/examination/s/transfer/ ）からダウンロードしてください。ただし、出身学校長の調査書が得られない場合は、成績証明書のみをもってこれに代えることができます。 | |
| 4 | 成績証明書 | 出身学校長が作成し厳封したものを。 | |
| 5 | 卒業証明書又は卒業見込証明書 | 出身学校長が作成したものを。 | |
| 6 | 在留資格認定証明書等（外国人の志願者のみ） | 在留資格認定証明書（査証手続の済んだもの）の写し、又は住民票の写し | |
| 7 | 写真票 & 受験票返送用切手貼付台紙 | 以下条件を満たす写真を用意し、裏面に志望学部及び氏名を記入し、用紙の上半分の写真票に貼り付けてください。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦4cm×横3cmのもの。 また、362円分の切手を用意し、用紙の下半分の受験票返送用切手貼付台紙に貼り付けてください。 | 入学検定料のお支払い後に印刷ができます。 |
| 8 | 宛名ラベル | 印字されている志望学部・学科、差出人に誤りがないか確認してください。市販の角形2号封筒（A4を折らずに入れられるサイズ）に宛名ラベルを貼付け、必要書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。 | 入学検定料のお支払い後に印刷ができます。 |

28

Step 7 提出書類の印刷

提出書類の一部（志願内容確認票等）を印刷するときは、**申込確認**をご利用ください。

インターネット出願登録サイト上部の  ボタンをクリックすると申込確認のログイン画面が表示されます。



登録した氏名（カナ）、生年月日、受付番号及びセキュリティコード（※）を入力してログインしてください。申し込み一覧が表示されます。

（※）受付番号又はセキュリティコードが不明な場合は、申込確認メールを確認してください。

申し込み確認

全て入力（選択）して「次へ」ボタンをクリックしてください。

氏名（フリガナ） セイ メイ （全角）

生年月日 年 月 日（平成11年12月31日生まれ） （半角）

受付番号 （半角）

セキュリティコード （半角）

受付番号又はセキュリティコードを忘れた方は [こちら](#) から

をクリックすると、必要書類の画面が表示されます。

申し込み一覧

氏名（フリガナ）：キュウコウダイ タロウ
生年月日：1999/12/31（平成11年12月31日生まれ）
受付番号：00184
セキュリティコード：3213

| 受付番号 | 出願日時 | 試験区分 | お支払い状況 | 各種確認 |
|-------|------------------|-----------|---|---|
| 00184 | 2018/03/30 15:51 | 第3年次編入学試験 | 済：クレジットカード（NICOS） 入金日 2018/03/30 00:00 | <input type="button" value="登録完了画面再表示"/> <input type="button" value="志願内容確認票（提出用）"/> <input type="button" value="確認メール"/> |

をクリックして志願内容確認票（提出用）を印刷することができます。

をクリックして、登録完了メールを再送することができます。



志願内容確認票、写真票&受験票返送用切手貼付台紙、宛名ラベルの [印刷ページ](#) ボタンをクリックし、「志願内容確認票（提出用）」と「写真票&受験票返送用切手貼付台紙」と「宛名ラベル」を印刷してください。（入試区分によっては、印刷する書類がこれ以外にもありますので、同様に印刷してください。）

※印刷はモノクロ・カラーどちらでも可。

必要書類

続いて下記に従って出願手を完了してください。

1. 必要書類の郵送 詳細については[こちら](#)から。

下記書類を準備し、大学へ郵送してください。

| No | 必要書類 | 備考 | |
|----|-----------------------|--|-------------------------|
| 1 | 志願内容確認票（提出用） | 出願内容に間違いがないか確認してください。 | 印刷ページ ▶ |
| 2 | 推薦書（編入学出願用） | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。なお、推薦書の様式は本学ホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/examination/s/transfer/ ）からダウンロードしてください。 | |
| 3 | 調査書 | 本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。なお、調査書の様式は本学ホームページ（ http://www.kyutech.ac.jp/examination/s/transfer/ ）からダウンロードしてください。ただし、出身学校長の調査書が得られない場合は、成績証明書のみをもってこれに代えることができます。 | |
| 4 | 成績証明書 | 出身学校長が作成し厳封したもの。 | |
| 5 | 卒業証明書又は卒業見込証明書 | 出身学校長が作成したもの。 | |
| 6 | 在留資格認定証明書等（外国人の志願者のみ） | 在留資格認定証明書（査証手続の済んだもの）の写し、又は住民票の写し | |
| 7 | 写真票&受験票返送用切手貼付台紙 | 以下条件を満たす写真を用意し、裏面に志望学部及び氏名を記入し、用紙の上半分の写真票に貼り付けてください。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦4cm×横3cmのもの。 また、362円分の切手を用意し、用紙の下半分の受験票返送用切手貼付台紙に貼り付けてください。 | 印刷ページ ▶ |
| 8 | 宛名ラベル | 印字されている志望学部・学科、差出人に誤りがないか確認してください。市販の角形2号封筒（A4を折らずに入れられるサイズ）に宛名ラベルを貼付け、必要書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。 | 印刷ページ ▶ |

確認後、下のチェックボックスをチェックして、「終了する」ボタンを押してください。

出願手続き完了までの手順を確認しました。

追加出願・出願履歴の確認 ▶

終了する ▶

18. 入学試験に関する問合せ先

各学部の編入学試験に関する照会については、月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く。）の8時30分から17時15分までの間に、下記にお問い合わせください。

なお、電話による問合せは必ず志願者本人が行ってください。

| | |
|-------|---|
| 工学部 | 九州工業大学工学部教務係（戸畑キャンパス） 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号 電話 093-884-3332 |
| 情報工学部 | 九州工業大学情報工学部教務係（飯塚キャンパス） 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4 電話 0948-29-7512 |

※不測の事態発生時等における諸連絡について

災害等における不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については、本学のホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）等により周知しますので、注意してください。

また、不測の事態等（大規模な災害・交通機関の遅延等）により受験できない恐れのある者は、上記に連絡してください。

19. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照してください。

参考 URL: <http://www.kyutech.ac.jp/exchange/ampo.html>

◆各種の資格等

【工学部】

卒業後、該当学科については次のような資格を得ることができます。

| 種 類 | 該 当 学 科 | 備 考 |
|---------------------|----------------------|---|
| 高等学校教諭 一種免許状（工業） | 全学科 | 本学には教職課程が設置されており、教育職員免許法に定める所定の単位を修得すれば、免許状を取得することができます。 編入学生で免許状を取得しようとする者は、通常の場合2年間で、必要な科目の単位を修得することになるので、入学後のなるべく早い時期に履修計画を立てることが必要です。 なお、編入学時に認定された単位が、免許状取得に必要な科目の単位としては認められないことがあるので注意してください。 |
| 高等学校教諭 一種免許状（数学） | 総合システム工学科 | |
| 技 術 士 | 全学科 | 第一次試験が免除されます。 |
| 一級管工事施工管理技士 | 機械知能工学科 | 所定の単位を修得し、卒業後所定の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 一級建築士 | 建設社会工学科 | 所定の単位を修得し、卒業後所定の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 測量士 | 建設社会工学科 | 測量に関する科目の単位を修得し、卒業後1年以上の実務経験の後、資格を取得できます。 |
| 一級土木施工管理技士 | 建設社会工学科 | 卒業後3年以上の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 二級・木造建築士 | 建設社会工学科 | 所定の単位を修得し、卒業後所定の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 第一種電気主任技術者 | 電気電子工学科 （電気工学コース） | 所定の科目の単位を修得し、卒業後5年以上の実務経験の後、資格を取得できます。 |
| 第一級陸上無線技術士 | 電気電子工学科 （電子工学コース） | 所定の科目の単位を修得すれば、受験科目のうち「無線工学の基礎」が免除されます。 |
| 電気通信主任技術者 | 電気電子工学科 | 所定の科目の単位を修得すれば、試験の一部が免除されます。 |
| 第一級陸上特殊無線技士 | 電気電子工学科 （電子工学コース） | 所定の科目の単位を修得すれば、申請により資格を取得できます。 |
| 第三級海上特殊無線技士 | 電気電子工学科 （電子工学コース） | 所定の科目の単位を修得すれば、申請により資格を取得できます。 |

【情報工学部】

卒業後、該当学科については次のような資格を得ることができます。

| 種 類 | 該 当 学 科 | 備 考 |
|------------------------|--|---|
| 高等学校教諭一種 免許状（数学・情報） | 全学科 | <p>本学には教職課程が設置されており、教育職員免許法に定める所定の単位を修得すれば、免許状を取得することができます。</p> <p>編入学生で免許状を取得しようとする者は、通常の場合2年間で、必要な科目の単位を修得することになるので、入学後のなるべく早い時期に履修計画を立てることが必要です。</p> <p>なお、編入入学時に認定された単位が、免許状取得に必要な科目の単位としては認められないことがあるので教務係に確認してください。</p> |
| 技術士 | 全学科 | 第一次試験が免除されます。 |
| 一級技術検定 | 知能情報工学科 電子情報工学科 システム創成情報工学科 機械情報工学科 | 卒業後一定の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 二級技術検定 | 知能情報工学科 電子情報工学科 システム創成情報工学科 機械情報工学科 | 卒業後一定の実務経験の後、受験資格を取得できます。 |
| 電気通信主任技術者 | 電子情報工学科 | 所定の科目の単位を修得すれば、試験の一部が免除されます。 |

◆大学院

本学には、大学を卒業したのち、さらに深く専門分野について研究しようとする者のために、大学院が設けられています。大学院の課程は、博士前期課程(修業年限2年)及び博士後期課程(修業年限3年)です。

◆奨学金制度等

○奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体などの奨学金があります。本学でこれらの奨学金を受けている者は、在学生の約51%に達しています。

なお、日本学生支援機構奨学金は、第一種奨学金（無利息）と第二種奨学金（利息付）の2種類の制度があります。

(平成30年4月現在)

| 種 別 | 貸 与 月 額 |
|--------|---|
| 第一種奨学金 | 自宅通学 2万円, 3万円又は4万5千円 自宅外通学 2万円, 3万円, 4万円又は5万1千円 } の中から 学生が選択 |
| 第二種奨学金 | 2万円～12万円（1万円単位）から学生が選択 |

○入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料免除の取扱い

(1) 入学料の免除

① 免除の対象となる者

- 次のいずれかに該当する特別な事情により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ア. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - イ. アに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
 - ウ. 強い社会的要請があり、特段の配慮が必要であると学長が認める者

② 免除の申請

入学料免除申請を希望する者は、平成31年1月下旬に送付する「入学の手引」に記載の「入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について」を熟読し、申請資格を確認したうえで手続を行ってください。

③ その他

- ア. 入学料免除願を受理された者は、免除の許可・不許可が決定する（5月中旬頃）まで入学料の納入を猶予します。
- イ. 選考の結果、不許可又は半額免除の決定がなされた場合は、その決定後、14日以内に入学料（半額免除の場合は半額）を納付することになります。

(2) 入学料の徴収猶予

入学手続時まで経済的理由により入学料の納付が困難な者については、入学料の納付を延期することができる制度があります。

(3) 授業料の免除

次のいずれかに該当する者で、授業料の納付が著しく困難と認められる者について、各期ごとの授業料の全額又は半額を免除することがあります。

① 免除の対象となる者

- ア. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- イ. 授業料の各期ごとの納期6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は入学前1年以内）において学資負担者が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
- ウ. イに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者
- エ. 強い社会的要請があり、特段の配慮が必要であると学長が認める者

② 免除の申請

授業料免除申請を希望する者は、平成31年1月下旬に送付する「入学の手引」に記載の「入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について」を熟読し、申請資格を確認したうえで手続を行ってください。

○奨学金・入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問合せ先

担当窓口：学務課学生・留学生支援係 電話 093-884-3050

◆厚生施設

大学構内にはキャンパス毎に、学生及び教職員の福利厚生の増進を図ることを目的とした施設があります。

食堂、売店（書籍、文房具等）等

◆学生の国際交流

九州工業大学はグローバルな学生をバックアップします。

国際交流

本学では、31カ国・地域、120大学・機関（平成29年5月1日現在）との間で協定を締結し、国際交流を積極的に推進しています。

国際交流協定校への1年以内の交換留学制度があり、本学に授業料を納付することで、留学先の大学では授業料が免除されます。専門科目を履修し、取得した単位を本学で認定することが可能です。交換留学に関わる出発前の手続き、危機管理情報の提供、留学中の相談など、本学が派遣学生を全面的にバックアップします。

交換留学以外に、多くの協定校との交流を活用した、本学独自のさまざまな海外派遣プログラムを提供しています。（独）日本学生支援機構による海外留学支援制度も積極的に活用し、経費の一部を補助しています。海外派遣プログラムでは、海外での安全教育を含む、事前・事後学習を行っており、教育効果をさらに高める工夫を行っています（下記「学生の海外派遣」参照）。

平成25年4月から、本学の協定校であるマレーシアプトラ大学キャンパス内に、海外教育研究拠点（MSSC）を設置しました。MSSCを活用した学生派遣プログラムや、マレーシアの企業で研修を行なう国際インターンシップの実施等、学生のグローバル化を一層推進するとともに、マレーシア渡航学生をバックアップしています。

学生の海外派遣

本学はグローバル化が加速する社会で活躍できる技術者（グローバル・エンジニア）に必要な能力（要素）をグローバル・コンピテンシーと定義し、グローバル・エンジニアを育成するために、在学中の海外での学習経験を推奨しています。在学中の海外での学習経験をより効果的なものとするために、以下の取り組みを実施し、学生の海外派遣を支援しています。平成28年度は、全学で22カ国517名が海外に派遣されました。

- ・ 海外での学習経験を効果的にするために、派遣の前後で事前・事後学習を実施
実際に海外に派遣される前に、異文化適応の測定として簡単なテストの実施、派遣先で安全に過ごすための事前学習、さらに派遣前に派遣国の文化の勉強やグループ演習等を行っています。また、海外派遣後、期間中の経験や学習内容を比較する振り返りを実施し、派遣前後の変化や今後の学生生活の目標等を発信する場として成果報告会を実施しています。
- ・ 目標に応じた派遣の実施
海外派遣の目的は学生によって異なっています。語学力の向上だったり、海外の日本企業へのインターンシップだったりします。本学では学生の目的に応じて、適切な海外派遣を学生に提供しています。
- ・ 派遣先に応じて旅費の一部を支給
海外派遣には、渡航費や生活費等がどうしても必要です。本学では、派遣先に応じて学生への経済的支援も行っています。

その他、様々な支援を行っていますので、詳細は各キャンパスの国際スタッフにお問い合わせください。

国際研修館【工学部】

国際的に活躍できる技術者になるためには、高い専門性に加え、実践的な英語力を伴った国際感覚と幅広い視野を持つ必要があります。本学では、国際的に通用するリーダーを育成するために、日本人学生と留学生が混住する国際研修館を設け、教育プログラムを実施しています。

ランゲッジ・ラウンジ【工学部】

本学では、国際的なコミュニケーション能力を高める取り組みとして、国際経験の豊富な専門のスタッフによるサポートを充実させ、日本人学生と留学生が相互に交流できるランゲッジ・ラウンジを戸畑キャンパスに設置しています。

グローバルコミュニケーションラウンジ【情報工学部】

本学では、国際的なコミュニケーション能力を高める取り組みとして、国際経験の豊富な専門のスタッフによるサポートを充実させ、日本人学生と留学生が相互に交流できるグローバルコミュニケーションラウンジを飯塚キャンパスに設置しています。

◆卒業後の就職状況

【平成28年度卒業生】

※各欄の上段（ ）内数字は、女子学生で内数

| 学部 | 学科等 | 建設業 | 印刷業 | 化学工業、石油・石炭製品製造業 | 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業 | はん用・生産用・業務用機械器具製造業 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 電気・情報通信機械器具製造業 | 輸送用機械器具製造業 | その他の製造業 | 情報通信業 | 運輸業、郵便業 | 卸売業 | 小売業 | 金融業 | 不動産取引・賃貸・管理業 | 学術・開発研究機関 | その他専門・技術サービス業 | 生活関連サービス業、娯楽業 | 学校教育 | その他の教育、学習支援業 | 医療業、保健衛生業 | その他サービス業 | 国家公務員 | 地方公務員 | 就職者数 | 未就職者数 | 就職率 | 大学院進学 | 専門学校等入学 | その他 | 合計 |
|-------|-------------|-----------|-------|-----------------|------------------|--------------------|-------------------|----------------|------------|---------|---------|---------|------|------|-----|--------------|-----------|---------------|---------------|------|--------------|-----------|----------|-------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工学部 | 機械知能工学科 | 機械工学コース | 2 | | 1 | (2)8 | 1 | 1 | 8 | 2 | | (1)2 | | | | | | 5 | 1 | | | | (3) | | | (4)31 | 100.0 | (7)35 | | | 66 | |
| | | 宇宙工学コース | | | 1 | 2 | | | (1)6 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 11 | 100.0 | 28 | 1 | 1 | 41 | |
| | | 知能制御工学コース | 1 | | 1 | 5 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 10 | 100.0 | (1)37 | | | (1)47 | |
| | | 計 | 3 | | 3 | (2)15 | 2 | 1 | (1)15 | 2 | | | (1)2 | | | | | | 8 | 1 | | | | (4) | | (5)52 | 100.0 | (9)100 | 1 | 1 | 154 | |
| | 建設社会工学科 | 建築学コース | (5)5 | | | | | | | | | | | (2)2 | | | | | | (1)3 | (8)10 | 1 | 90.9 | (3)12 | | (11)23 | | | | | | |
| | | 都市環境デザイン | (1)13 | | (1)2 | 1 | | | | 1 | | | | | | (3) | | 8 | | | | | (1)1 | (6)1 | 12 | 38 | 100.0 | 18 | (6) | 1 | 57 | |
| | | 計 | (6)18 | | (1)2 | 1 | | | | 1 | | | | | | (5) | | 10 | | | | | (2)1 | (14)1 | 15 | 48 | (3)1 | 98.0 | 30 | (17) | 1 | 80 |
| | 電気電子工学科 | 電気工学コース | 2 | | 1 | 1 | 4 | 1 | (1)1 | (1)1 | | | | (1)1 | | | | | | | | | | (3)1 | | 14 | 100.0 | 53 | (3) | | 67 | |
| | | 電子工学コース | 1 | (1)1 | | 1 | 2 | 4 | (1)1 | (1)6 | (1)2 | 3 | | | | | | | (1)1 | | | | | | | (4)23 | 100.0 | 43 | | 1 | (4)67 | |
| | | 計 | 3 | (1)1 | 1 | 2 | 6 | 5 | (1)2 | (1)7 | (2)3 | 3 | | (1)1 | | | | | (1)1 | | | | | | 1 | (7)37 | 100.0 | 96 | | 1 | (7)134 | |
| 工学部 | 応用化学科 | (1)1 | | (1)2 | | (1)2 | (1)2 | 1 | (1)2 | (2)5 | (1)2 | 1 | (1)1 | 1 | | | | (1)1 | (1)1 | | | | | | | (11)23 | 100.0 | (9)52 | | 1 | (20)76 | |
| | マテリアル工学科 | 1 | | | 5 | 2 | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 13 | 100.0 | 38 | (2) | | (2)51 | | |
| | 総合システム工学科 | | | | 1 | | 2 | 2 | (1)6 | | 5 | | 1 | | | | | 2 | | (1) | | | (1) | | (2)19 | 100.0 | 28 | | | 47 | | |
| | 工学部計 | (7)26 | (1)1 | (1)3 | (1)13 | (3)26 | (1)13 | (1)6 | (4)31 | (4)11 | (1)10 | (1)3 | (2)3 | 1 | | | | (7)23 | (1)2 | | 1 | | 1 | 2 | (2)16 | (37)192 | 1 | 99.5 | (20)344 | 1 | 4 | (57)542 |
| | 情報工学科 | | | | | | | | | | (11)38 | | | | | 1 | 3 | | 1 | | | (11) | 1 | | (1) | 48 | 100.0 | (12)37 | 1 | 5 | 91 | |
| 情報工学科 | 電子情報工学科 | | | | | | 1 | (1)2 | (1)2 | | (6)25 | | | | 1 | | 1 | | | | | (8) | 1 | 3 | (1) | 37 | 100.0 | (9)47 | | 2 | 86 | |
| | システム創成情報工学科 | (1)3 | 1 | | 1 | (1)4 | 2 | 3 | (1)3 | 1 | (2)18 | | | | | | (1)2 | | | | | (1)1 | 6 | | (7)46 | 100.0 | (4)38 | | 2 | (11)86 | | |
| | 機械情報工学科 | | | | 1 | 3 | (1)3 | (1)4 | 3 | (1)2 | (2)11 | | | | | | | 1 | | | | (5) | | | 28 | 100.0 | (5)47 | | 4 | 79 | | |
| | 生命情報工学科 | | | (1)1 | | (1)1 | (1)1 | (2)2 | | | (14)22 | | (1)1 | | | | | (2)3 | | | | | (1)2 | (1)1 | (24)34 | 100.0 | (8)37 | | 3 | (32)74 | | |
| | 情報工学部計 | (1)3 | 1 | (1)1 | (2)2 | (2)9 | (2)7 | (4)12 | (2)8 | (1)5 | (35)114 | | (1)1 | | 1 | 1 | 1 | (3)10 | | 1 | 1 | (1)1 | (1)10 | 3 | (1)193 | 100.0 | (14)206 | 1 | 16 | (69)416 | | |

※「就職率」の欄は、就職希望者に占める就職者の割合。
 ※「専門学校等入学者」の欄には、大学に学士入学・編入学する者や研究生として入学する者等も含む。
 ※「その他」の欄には、起業するもの、自営業（フリーランス）、公務員・教員希望者、進学希望者、留学生で母国に帰国する者等を含む。
 ※旧コースの人数は、該当する新コース分野の人数を含む。

◆各学部のアドミッションポリシー

工学部

【技術者としての育成目標】

「ものづくり」をキーワードとして機械知能工学科，建設社会工学科，電気電子工学科，応用化学科，マテリアル工学科，総合システム工学科の6学科それぞれの分野で，科学と技術における習熟した専門知識や自然，社会，文化などに対する深い見識を育みます。それらを基礎として，アイデアにあふれた「ものづくり」ができる豊かな感性と幅広い教養，更に国際的視野を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のような意欲的な学生を求めます。

1. 科学と技術に対する旺盛な好奇心を持ち，その基礎学力を持った人。
2. ものづくりに興味があり，高い倫理観，豊かな感性と教養を持ち社会貢献しようとする人。
3. 工学における高度で幅広い知識への学習意欲と問題解決の実践に情熱を持っている人。
4. 自らの考えを伝えることができ，さまざまな考えの人たちともコミュニケーションできる人。

【第3年次編入学による受け入れ】

工業高等専門学校を卒業もしくは理工系短期大学を卒業し，更に高度な工学に関する専門性を身につけることを志す意欲的な学生を受け入れます。そのために，面接試験(基礎学力及び専門に対する適性等に関する口頭試問を含む。)及び出願書類審査によって，3年次からの工学専門教育の勉学に必要な基礎学力を備えているかを評価します。

情報工学部

【技術者としての育成目標】

「情報」を基軸とする科学技術分野において高度な専門技術を身に付けた人材を養成します。そのため，情報化社会をリードし，今後の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎技術力と，先端的な技術開発に対応できる専門技術力を兼ね備えられるよう，教育を行います。さらに，「技術に堪能なる士君子」という本学の基本理念のもとに，幅広い教養や豊かな人間性，技術者としての高い倫理観，そして世界に通用するコミュニケーション能力を備えた技術者の育成を目指しています。

【求める学生】

次のように大きな可能性を秘めた学生を求めます。

1. 情報工学並びに関連する理工学の基礎となる数学，物理，化学，生物などの基礎学力を有する人。
2. 科学と技術，特に情報工学及びそれを用いて電子工学，システム創成工学，機械工学，生命工学などの問題解決を行うことに強い関心と意欲を持つ人。
3. 豊かな感性と高い倫理観，そして十分なコミュニケーション能力を備えた人。

【第3年次編入学による受け入れ】

3年次編入が可能な基礎学力を有しているとともに，他の大学，高等専門学校，短期大学等で得た知見を生かして，さらにその能力を高める意欲を持ち，高度技術者を強く指向する学生を受け入れます。そのために，内申書及び自己申告書等の提出書類に加え，必要に応じて面接試験を実施し，基礎学力並びに適性，意欲等を総合的に確かめます。このように編入学試験では，学力並びに適性における優れた面を評価します。

◆各学部の案内

工学部

工学部がある戸畑キャンパスは、JR鹿児島本線九州工大前駅（小倉駅より5分）から徒歩8分というアクセスの良い所にあります。レンガ造りの正門を入り、庭園のようなたたずまいの中を進むと、木立の間に学舎が見えてきます。国立大学の中でも有数の緑あふれる恵まれた環境の中で、明日の夢に情熱を燃やす約3,000名の若者が学んでいます。

工学部は、機械知能工学科、建設社会工学科、電気電子工学科、応用化学科、マテリアル工学科及び総合システム工学科の6学科7コースで構成され、「ものづくり」を通じて人類・社会に貢献できる、課題解決能力を備えた技術者の養成を目指しています。

また、大学院工学府博士前期課程には、卒業生の過半数が進学して勉強し、その後、後期課程に進学する修了生もいます。

| 機 械 知 能 工 学 科 | |
|--|--|
| <p>本学科は、自然現象を理解・解明して人間生活に役立たせるための機械を作って動かす機械工学と、計測、制御、情報機器を合体して機械の知的円滑動作を可能にする制御工学の二つで構成されています。機械工学は、さらに、機械工学コースと宇宙工学コースに、制御工学は知能制御コースと、3コースに分かれて学びます。</p> | |
| 機械工学 コース | <p>今日、環境に配慮し自然との共生を考えた人間社会に役立つ技術の研究・開発が求められています。機械工学コースでは、自然科学の先端を理解・開拓して、工業技術の先端化の中心的役割を担える機械技術者の養成を目的とした教育を行います。このため、「ものづくり」の基礎としての力学体系を中心とした機械工学の基礎科目や専門科目を履修するとともに、生産工学、設計生産情報処理、機械要素などの工業技術に習熟し、さらに物理・数学系や数理情報基礎科目を履修できるカリキュラムとなっています。</p> <p>本コースと下記宇宙工学コースの卒業生は、あらゆる業種に対応できる技術者として企業から高く評価されており、自動車、重工業、鉄鋼、化学工業、宇宙開発、精密機器、電気等々の分野に進み、指導的な役割を担うものと期待されています。また、多くの者は高度化する技術に対応できるよう大学院に進学しています。</p> |
| 宇宙工学 コース | <p>次世代新技術の開発、地球環境やエネルギー問題の解決のため、宇宙空間を利用した研究が注目されています。このような研究、開発を行う宇宙空間施設を構築するには、特殊環境に対応できる数々の要素技術（宇宙における潤滑、振動、伝熱、構造などの分野）と新規技術（ターボポンプ、工作法、輸送・推進システムなどの分野）が必要となります。本コースでは、このような技術的課題を機械工学の側面から研究・開発するための教育と研究を、機械工学コースと強く関連させながら行います。</p> |
| 知能制御工学 コース | <p>制御工学は、車両、ロボット、産業設備、宇宙ステーション、磁気浮上システム、家電製品、医療・福祉機器などのさまざまなものを、人の望むとおりに動かすための知能制御技術を追求する学問です。</p> <p>知能制御工学コースでは、多様な技術を総合的・横断的に取り扱えるメカトロニクス制御技術者として活躍のできる人材の養成を目標とし、体系化された制御理論をはじめとして、計測システム、情報処理システム及び駆動システムを学びます。さらに関連分野として、機械工学、情報工学、電気工学及び電子工学などの基礎科目も学びます。</p> <p>本コースの卒業生は、半数以上が大学院に進学しており、自動車、電気・電子、鉄鋼・金属、繊維・化学、コンピュータ、電力など幅広い分野で活躍しています。</p> |

建設社会工学科

建設社会工学科では、土木や建築などの複数の建設系工学分野に関する幅広い基礎学力と十分な専門知識を有し、安全で豊かなまちづくりに貢献できる人材を育成します。本学科は、以下の2つのコースで構成されています。

卒業後の進路は、建設会社、建設コンサルタント、建築設計事務所、鉄鋼・建材・住宅メーカー、上級技術者としての国家・地方公務員、鉄道、高速道路、電力、通信、ガス、水道などの社会インフラ系企業などです。卒業生はこれらの業種において指導的役割を担う人材として期待されています。また、卒業生の約半数は高度化する技術に対応するため大学院に進学しています。

建築学 コース

豊かな生活空間を創造するための建築・都市空間に対する計画やデザイン、及び安全で快適な建築物を実現するための構造設計、建築設備や建築施工などの技術について学びます。

都市環境 デザイン コース

社会基盤施設に関するもの創りをベースとして、安全で潤いのある生活空間を提供するための環境デザイン技術とともに、自然災害に対する防災システムや都市創造のための建設システムに関する技術について学びます。

電気電子工学科

電気電子工学科は次世代のエネルギー、電子デバイス、電子システム化技術に通じた技術者の育成によって、社会をより豊かなものとすることを教育の目的としています。幅広い電気電子工学の分野を見渡せる基礎力と自分の専門とする分野で活躍できるより高度な専門力を身につけるため、本学科では、電気工学コースと電子工学コースの2コースで構成され、一貫して基礎に重点をおいた教育を行っています。学部3年生からはそれら2コースに分かれて、より専門的な学習を行います。この教育体系により、高い問題解決能力と幅広い視野を育み、世界の第一線で活躍する多くの卒業生を輩出しています。

電気工学 コース

産業と生活の隅々まで進んでいるエレクトロニクス化・情報化は、生活を便利で豊かなものにしていきます。電気工学コースでは、その根幹を支えているエネルギーとしての電気をいかに効率的に発生し、利用できるかについて、その素材・素子などの製造技術開発からエレクトロニクス・電力機器への応用、電力制御・送配電ネットワーク制御、さらに、宇宙利用やシステム化技術まで、演習・実験を重要視したカリキュラムによって、実践的に身につけます。

電子工学 コース

デジタルテレビ、スマートフォン、ゲーム機、さらには自動車にまで、コンピュータ、システムLSI、センサ・アクチュエータとソフトウェアを有機的に組み込んだ電子システムが身の回りに溢れており、これらが通信システムによって結ばれることで、我々の生活はますます便利で豊かになっています。電子工学コースでは、社会を支えるこれらの機器およびシステムを設計・構築するために必要な、電子回路設計、画像・音声などの信号処理、無線・光通信・ネットワークなどの幅広い技術を、演習や実験科目を組み合わせたカリキュラムによって実践的に身につけます。

応用化学科

応用化学科では、「技術に堪能なる士君子」という本学の基本教育理念に基づき、多様な技術に総合的・横断的に対応できる化学系技術者・研究者の育成を行っています。化学の骨格を形成する有機化学、無機化学、物理化学、化学工学の各基礎教育分野に対してバランスのとれたカリキュラムを整備し、博士前期課程教育との連携を考慮して効率的な化学系育成プログラムを構築しています。また、各種地域貢献事業を通じた人材育成教育によって北九州工業地帯の環境・エネルギー・ナノテク・情報システム・バイオ・ケミカルエンジニアリング等の多様な先端産業技術の基礎を支えています。

卒業生の6割以上は、大学院に進学し、6年一貫型の教育を受けることによって最先端分野で活躍できる高度化学専門技術者として活躍しています。学部生の就職先も、総合化学工業、食品、環境・エネルギー・IT 関連、電気・電子機械工業、自動車、鉄鋼、非鉄、半導体、精密機器など多岐に渡り高い評価を得ています。

マテリアル工学科

マテリアル工学はあらゆる産業の基幹技術であり、新しいマテリアルの開発によってさまざまな技術開発や産業革新がもたらされるため、人類の幸福と産業の活性化にとって必要不可欠な学問領域です。

マテリアル工学科では、数学、物理、化学及び情報などを基盤として、金属、半導体及びセラミックスなどのマテリアルの構造・性質をナノスケールで調べ、新規金属材料やセラミックスの持つべき機能を設計し、安全な製品の効率のよい生産及びリサイクル利用のためのプロセスを学び研究します。また、「計算材料学 I・II」「マテリアル基礎実験」「マテリアル工学 PBL」などの科目群も準備し、マテリアル工学の実践・応用までを体系化したカリキュラムを編成しています。

本学科の卒業生の多くは大学院へ進学しています。また、基礎学力、応用力、創造性、さらに行動力や協調性を身に付けた卒業生は鉄鋼、非鉄(アルミニウム、マグネシウム、チタン、銅など)、半導体、セラミックス工業、自動車、精密機械、重工業、電気・電子機械工業など広範囲の分野において技術者・研究者として活躍しています。

総合システム工学科

総合システム工学科では、次世代の自動車産業やロボット産業などの先端分野で活躍できる専門的素養を身につけた高度技術者を育成します。これら先端分野では、複数の工学分野にまたがる総合的な知識と能力が必要とされています。この新しい時代のニーズに応えるために、平成20年に設立された本学科では、先進的な教育カリキュラムを組んでいます。1～2年生では基礎に重点を置いた講義・演習や少人数チームで課題に取り組むPBL(課題解決型学習)を通して、数学・物理学等の確かな基礎学力を養うと同時に、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけます。3～4年生では先端分野に対応できるように機械工学や電気電子工学を中心とする複数分野の専門領域をバランスよく履修することができ、専門の実験演習科目を通して、これらの専門工学分野間のつながりを有機的に体得できます。あわせて数理系科目を学ぶことにより、「ものづくり」に必要なモデリング能力とデザイン力を伸ばします。また、大学院で開講される専門科目の履修も可能です。

本学科の卒業生は機械工学や電気電子工学を中心とする幅広い先端分野(自動車、ロボット、機械、精密機械、宇宙、重工業、鉄鋼、金属、電力、デジタル家電、半導体、コンピュータ)や公務員、教員(平成20年度教職課程設置により、本学科では高等学校の数学・工業免許を取得可能)としての活躍が期待されます。また、大学院へ進学し更に高度な専門技術者・研究者への道が開かれています。

情報工学部

現在の「IT革命」に代表される、高度に情報化された社会に対応すべく、昭和61年(1986年)に開設したのが、情報工学部です。我が国最初のコンピュータサイエンスの総合学部であり、先端的情報科学と、その応用対象となる分野の工学の融合を志向しています。

真の情報化社会の実現には、あらゆる分野において情報化を推進できる人材が必要です。しかし、専門分野ごとに細分化された学問体系では、情報に関して広い視野を持ち、世界をリードするような優れた人材の育成は困難です。そこで本学部では、情報科学のしっかりした基盤の上に、従来の工学に基づく対象分野の学問を乗せる形で、体系を構築しました。

本学部で養成するのは、次世代情報化社会の担い手となる、創造的、意欲的な技術者、研究者(高度専門職業人)です。このため教育の目的は、短期的な実務能力よりもむしろ、息長く活躍できるための基礎能力の育成で、数学、理科などの基礎学力をもち、高度職業人を目指す学生を求めています。

なお、大学院として、博士前期課程に先端情報工学、学際情報工学及び情報創成工学の3専攻、博士後期課程に情報工学専攻を有する情報工学府を設置しています。

知 能 情 報 工 学 科 <http://www.ai.kyutech.ac.jp/>

これからの情報技術は、ことば、音声、映像などのさまざまなメディアを利用することによって、コンピュータと人の協調を可能にします。つまり、人が考えて操作するのではなく、人が考えることをサポートするような知的な情報システムを実現することが可能になります。知能情報工学科では、このような情報システムを実現する知識や技術を幅広く身につけるために、1) 計算機科学と情報処理技術の基礎を学ぶ、2) 知的情報処理に関する技術を学んで、人とコンピュータが協調する新しい知的情報処理のメカニズムを開発する、3) 数学及び自然科学の基礎を身につける、という教育目標の下でカリキュラムを構成しています。

また、知能情報工学科では、1) 論理的思考に基づく人間の知的活動の仕組みを解明してコンピュータで実現し、新たな方法を確立する「知能数理学部門」、2) 新世代の情報処理システムを実現するのに必要なハードウェアとソフトウェアの構築技術を確立する「知能情報アーキテクチャ部門」、3) 人の言葉を理解したり、視覚で自動的に判断するなど、コンピュータが人に近い存在であるために必要な技術を確立する「知能情報メディア部門」、という三つのグループ「部門」を構成することにより、情報技術に関する高度な教育・研究を推進しています。本学科の卒業生は、計算機メーカーや通信、ソフトウェア産業をはじめ、広く官公庁、製造業などでの活躍が期待されます。大学院に進学して本格的な研究に取り組むこともできます。

電子情報工学科では、半導体や電子回路を扱う電子工学（エレクトロニクス）、コンピュータの原理とその応用に関する技術である計算機工学（コンピュータ・LSI）、及びインターネットや携帯電話などに代表される情報通信工学（ネットワーク・システム）の、3分野を融合する総合的学際領域の教育・研究を行っています。

講義では、電磁気学、電子回路などを始めとして、ワークステーションを使った情報処理、LSI の設計と製作、太陽電池、光通信、超伝導、インターネット技術など最先端の技術までを、それらの中で最も重要な基礎を中心に総括的に学びます。これからの情報化社会に柔軟に対応できる実践力をバランスよく学び、高度な情報化システムを創造できる新しい時代の技術者の育成を目指しています。現象の解明などの基礎から、装置の開発などの応用まで、様々な段階の研究が行われていることも特徴であり、卒業研究などを通じてこれらを体験できます。

本学科の卒業生はハードウェアとソフトウェアの両面に明るいと評判が高く、半導体、通信機、計算機、家電、重工業などのメーカー、通信事業会社、商社、銀行はもとより官公庁でも活躍しています。また、大学院へ多くの学生が進学しており、専門分野の道を究めることができます。

本学科では、21世紀の高度情報化社会を支える、環境と人に優しい新しいシステムの創成を目指して、システムと情報の融合をキーワードに、基盤から応用までの幅広い理論と技術に関する教育・研究を行っています。「システム」とは、複数の要素が有機的に連携し合い、全体としてまとまった機能を有する集合体です。まったく新しいシステムを創成するためには、既成概念にとらわれずに、形と方法の両方を新しく創り上げていくことが必要になります。このため、本学科では、自然科学、情報分野（コンピュータハードウェア及びソフトウェア、情報理論等）、対象分野（システム理論、ロボット工学、最適化、データ解析、電気電子工学・光工学等）の幅広い知識を系統的に習得させ、1年生から4年生までの一貫した「創成教育」を通して、解決すべき問題を発見・認識・整理して解決するための能力を養成します。これらを基礎として、1) 制御系設計やロボットなどのシステム制御、2) データ解析やアルゴリズムなどのシステム数理学、3) コンピュータグラフィクス、マルチメディア・生体・電子・光情報処理などの応用分野に挑戦する創造的エンジニアを育成します。

本学科の卒業生は、情報システム、通信、半導体、電子機器、重工業を中心とする企業や官公庁などの幅広い分野での活躍が期待されています。また、大学院に進学して、専門分野の研究をさらに深める道も開かれています。

機 械 情 報 工 学 科 <http://www.mse.kyutech.ac.jp/>

機械情報工学科では情報工学に機械工学を融合することにより、機械と人間がよりよく共生できるようにすることを目指しています。そのために、ロボットからマイクロマシンにいたるまで、次世代の機械をデザインできる技術者を育成しています。興味や将来の進路に合わせて以下の3つの分野で学ぶことができます。

ロボット分野：ロボット技術は、自動車製造、半導体産業など多方面で応用されています。機械と情報を融合させたシステム設計技術を身に付け、幅広く活躍できる人材を育成する教育を行います。

マイクロ分野：発展著しいマイクロ/ナノ技術を学び、製造業をはじめ医療や人間に関わる技術に応用します。精密システムで社会を支える人材を育成する教育を行います。

3D デザイン分野：新製品、新技術を開発する、設計技術を学びます。情報技術と融合したデジタルエンジニアリング、3D 統合シミュレーションを身に付け、新しいメカの創出で人類と社会に貢献する人材を育成する教育を行います。

本学科の卒業生は、ロボット、半導体製造、自動車をはじめ、デジタル家電から重工業、官公庁まで幅広い業種で活躍しています。また、多くが大学院に進学しており、専門分野の研究をさらに深める道も開かれています。

生 命 情 報 工 学 科 <http://www.bio.kyutech.ac.jp/>

本学科では、ライフサイエンスやバイオテクノロジーの分野に、コンピュータによる情報処理教育をとりいれて、学際的で先端的な生命科学・生物工学分野の教育と研究を行います。生物学や化学はもちろん、コンピュータサイエンスについても基礎と実技を習得し、ダイナミックに発展する生命科学・生物工学と計算機科学とを結ぶ未踏分野にチャレンジできる研究者、技術者の育成をねらいとしています。

1, 2年次には、自然科学と情報処理技術の基礎を学習します。ここでは、現在までに明らかになっている遺伝子から細胞及び個体に至る生命現象のさまざまなプロセスを分子レベルで理解するとともに、それぞれのプロセスが生命システムとして総合的にどのように機能するかについて学びます。高学年では、コンピュータによる分子設計・有用物質生産のコントロール、化学工学、蛋白工学、遺伝子工学、生体エネルギー変換システム、生体プロセスのシステム化、医療工学、神経による情報処理、生体機能素子などの分野の研究に参加し、生物と工学に関する研究及び開発の能力を養います。

本学科の卒業生は、情報関連産業はもちろんのこと、医薬品、食品、一般化学工業、情報産業、環境、社会福祉など幅広い分野での活躍が期待されています。また、大学院へ進学して、さらに高度な研究者、技術者への道も開かれています。

◆過去3か年の編入学試験実施状況

【工学部】

| 学部・学科 | | 年度 | | 平成28年度 | | | | | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | |
|-------|-----------|-------|--|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|----|
| | | 募集人員等 | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | |
| 工学部 | 機械知能工学科 | | | 23 | 23 | 13 | 13 | | | 24 | 24 | 11 | 11 | | | 23 | 23 | 11 |
| | 建設社会工学科 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 3 | 3 | 1 | 1 | | | 2 | 2 | 1 |
| | 電気電子工学科 | | | 13 | 13 | 8 | 8 | | | 16 | 16 | 9 | 9 | | | 15 | 15 | 8 |
| | 応用化学科 | 20 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 20 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 20 | | 3 | 3 | 1 |
| | マテリアル工学科 | | | 3 | 3 | 1 | 1 | | | 3 | 3 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 総合システム工学科 | | | 2 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | | | 20 | 43 | 43 | 24 | 24 | | | 49 | 49 | 24 | 24 | 20 | 45 | 45 | 23 |

モンゴル・ツイニング・プログラム

| 学部・学科 | | 年度 | | 平成30年度 | | | |
|-------|---------|-------|--|--------|------|------|------|
| | | 募集人員等 | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
| 工学部 | 機械知能工学科 | | | 若干名 | 0 | 0 | 0 |
| | 建設社会工学科 | | | 若干名 | 4 | 4 | 1 |
| 合計 | | | | | 4 | 4 | 1 |

【情報工学部】

| 年度 募集人員等 | | 平成 28 年度 | | | | | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | |
|-------------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|----------|------|------|------|------|-----------|------------|------------|------------|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
| 学部・学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報工学部 | 知能情報工学科 | 7 | 12 | 12 | 8 | 8 | 7 | 12 | 12 | 7 | 7 | 7 | 18 | 18 | 9 |
| | 電子情報工学科 | 8 (4) | 24 (18) | 24 (18) | 10 (6) | 10 (6) | 8 | 11 | 11 | 8 | 8 | 8 (5) | 16 (11) | 15 (10) | 8 (5) |
| | システム創成情報工学科 | 8 | 16 | 16 | 11 | 11 | 8 | 12 | 12 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 11 |
| | 機械情報工学科 | 7 (4) | 15 (12) | 15 (12) | 10 (7) | 10 (7) | 7 | 10 | 10 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | 生命情報工学科 | 5 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 14 | 14 | 7 | 7 | 5 (4) | 9 (6) | 9 (6) | 7 (6) |
| 合計 | | 35 (8) | 74 (30) | 74 (30) | 45 (13) | 45 (13) | 35 | 59 | 59 | 38 | 38 | 35 (9) | 59 (17) | 58 (16) | 42 (11) |

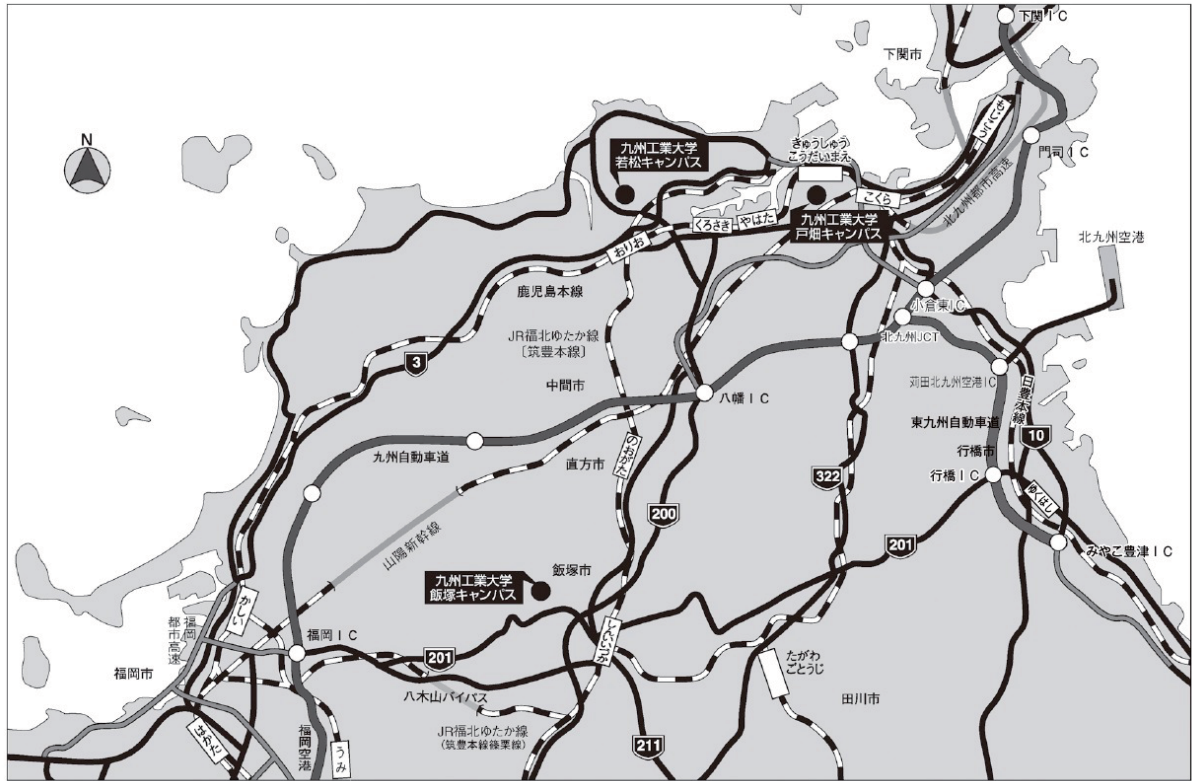
※ 合格者には、第2志望学科及び第3志望学科での合格者も含まれます。

※ 平成28年度及び平成30年度の実施状況については、第2次募集（一般選抜）の実施状況を（ ）内数で表示しています。

マレーシア・ツイニング・プログラム

| 年度 募集人員等 | | 平成 28 年度 | | | | | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | |
|-------------|---------|----------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|----------|------|------|------|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
| 学部・学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報工学部 | 電子情報工学科 | 若干名 | 3 | 3 | 3 | 2 | 若干名 | 4 | 4 | 3 | 1 | 若干名 | 2 | 2 | 2 |
| | 機械情報工学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 | 若干名 | 2 | 2 | 2 |
| 合計 | | | 3 | 3 | 3 | 2 | | 4 | 4 | 3 | 1 | | 4 | 4 | 4 |

◆九州工業大学の所在地



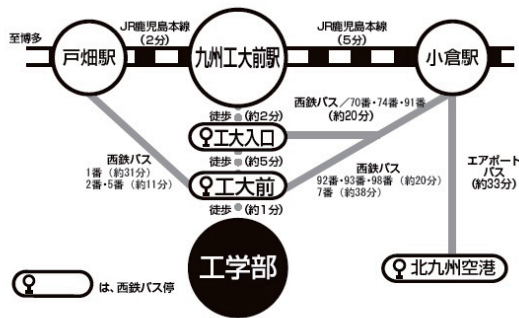
TOBATA

工学部 (戸畑キャンパス)



●所在/福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

●交通案内



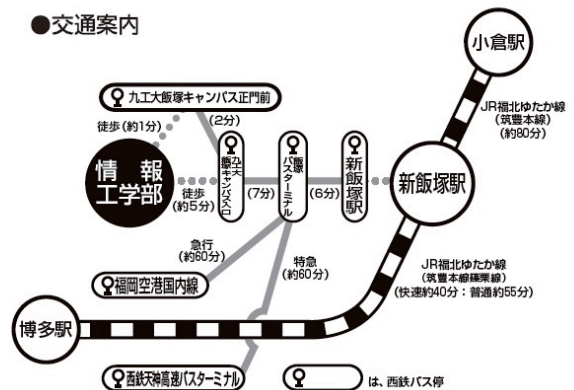
IIZUKA

情報工学部 (飯塚キャンパス)



●所在/福岡県飯塚市川津680番4

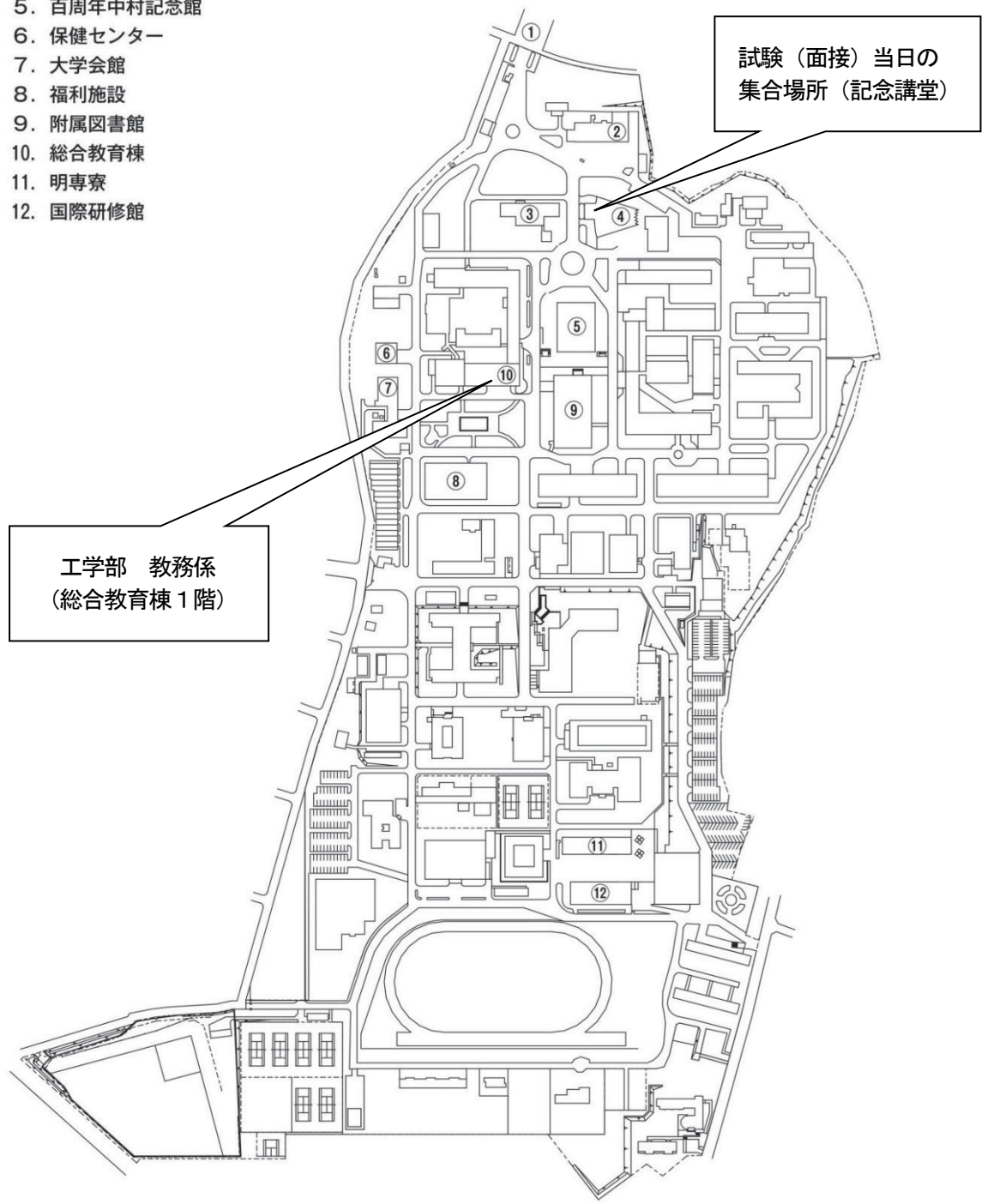
●交通案内



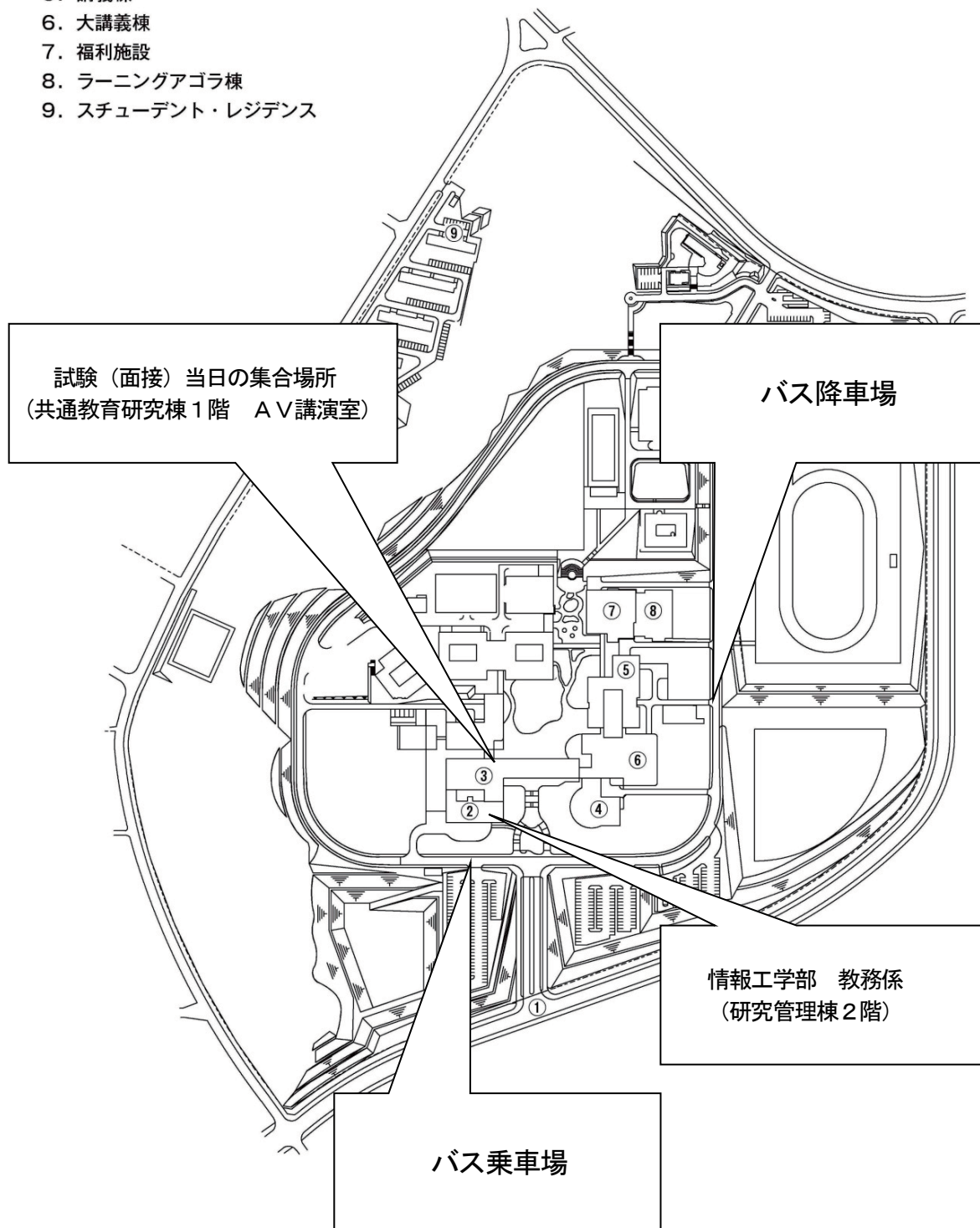
※西鉄天神高速バスターミナルから九工大飯塚キャンパスまでの直通バスもあります。
 ※飯塚キャンパスでは、スクールバスを運行しています。
 詳細は (http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/) 参照

工学部(戸畑キャンパス) 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

1. 正門
2. 本部棟
3. ランゲッジ・ラウンジ (鳳龍会館)
4. 記念講堂
5. 百周年中村記念館
6. 保健センター
7. 大学会館
8. 福利施設
9. 附属図書館
10. 総合教育棟
11. 明専寮
12. 国際研修館



1. 正門
2. 研究管理棟
3. 共通教育研究棟
4. 附属図書館分館
5. 講義棟
6. 大講義棟
7. 福利施設
8. ラーニングアゴラ棟
9. スチューデント・レジデンス



◆平成32年度入学者選抜方法の変更について【予告】

1. 学科・コース及び募集人員について

平成30年4月の学部改組に伴い、平成32年度第3年次編入学試験（平成31年度実施）から、以下のとおり、募集する学科・コース及び募集人員が変わります。

各学科及びコースの詳細については、本学ホームページに掲載中の「大学案内」(<http://www.kyutech.ac.jp/information/publication.html>)を参照してください。

① 工学部

| 平成31年度入試（平成30年度実施）まで | |
|--|------|
| 学科（コース）名 | 募集人員 |
| 建設社会工学科 （建築学コース） （都市環境デザインコース） | 20名 |
| 機械知能工学科 （機械工学コース） （宇宙工学コース） （知能制御工学コース） | |
| 総合システム工学科 | |
| 電気電子工学科 （電気工学コース） （電子工学コース） | |
| 応用化学科 | |
| マテリアル工学科 | |
| 計 | |



| 平成32年度入試（平成31年度実施）以降 | |
|---|------|
| 学科（コース）名 | 募集人員 |
| 建設社会工学科 （建築学コース） （国土デザインコース） | 1名 |
| 機械知能工学科 （機械工学コース） （知能制御工学コース） | 7名 |
| 宇宙システム工学科 （機械宇宙システム工学コース） （電気宇宙システム工学コース） | 2名 |
| 電気電子工学科 （電気エネルギー工学コース） （電子システム工学コース） | 8名 |
| 応用化学科 （応用化学コース） | 1名 |
| マテリアル工学科 （マテリアル工学コース） | 1名 |
| 計 | 20名 |

② 情報工学部

| 平成31年度入試（平成30年度実施）まで | |
|----------------------|------|
| 学科名 | 募集人員 |
| 知能情報工学科 | 7名 |
| 電子情報工学科 | 8名 |
| システム創成情報工学科 | 8名 |
| 機械情報工学科 | 7名 |
| 生命情報工学科 | 5名 |
| 計 | 35名 |



| 平成32年度入試（平成31年度実施）以降 | |
|---|------|
| 学科（コース）名 | 募集人員 |
| 知能情報工学科 （データ科学コース） （人工知能コース） （メディア情報学コース） | 7名 |
| 情報・通信工学科 （ソフトウェアデザインコース） （情報通信ネットワークコース） （コンピュータ工学コース） | 9名 |
| 知的システム工学科 （ロボティクスコース） （システム制御コース） （先進機械コース） | 9名 |
| 物理情報工学科 （電子物理工学コース） （生物物理工学コース） | 5名 |
| 生命化学情報工学科 （分子生命工学コース） （医用生命工学コース） | 5名 |
| 計 | 35名 |

※ 工学部においては、出願時に志望のコースを選択します。

※ 情報工学部においては、入学後に志望するコースに受け入れます。

2. 出願資格及び選考方法について

平成32年度第3年次編入学試験（平成31年度実施）から、以下のとおり、出願資格及び選考方法が変わります。

(1) 出願資格

① 工学部

| 平成31年度入試（平成30年度実施）まで | |
|----------------------|---|
| 選抜方法 | 出願資格 |
| 推薦選抜 | <p>合格した場合，入学することを確約できる者で，次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等専門学校を卒業した者又は平成〇〇年3月卒業見込みの者で，在学中の成績が上位に属し，出身学校長が人物・学力優秀と認め，責任をもって推薦するもの</p> <p>(2) 理工系短期大学を卒業した者又は平成〇〇年3月卒業見込みの者で，在学中の成績が上位に属し，出身短期大学長が人物・学力優秀と認め，責任をもって推薦するもの</p> <p>(注) 各高等専門学校及び各理工系短期大学から推薦できる人数は，同一志望コースにそれぞれ原則として2名以内とします。 ただし，<u>機械工学系2コース（機械工学・宇宙工学）は合わせて4名以内とします。</u></p> |



| 平成32年度入試（平成31年度実施）以降 | |
|----------------------|---|
| 選抜方法 | 出願資格 |
| 推薦選抜 | <p>(略)</p> <p>(注) 各高等専門学校及び各理工系短期大学から推薦できる人数は，同一志望コースにそれぞれ2名以内とします。</p> |

② 情報工学部

| 平成 31 年度入試（平成 30 年度実施）まで | |
|--------------------------|--|
| 選抜方法 | 出願資格 |
| 一般選抜 | (1) 他の大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者又は平成〇〇年3月までに2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者 (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は平成〇〇年3月までに授与される見込みの者 (3) 大学を卒業した者又は平成〇〇年3月卒業見込みの者 (4) 高等専門学校、短期大学を卒業した者（卒業見込みの者は含まない。） (5) 外国において、前記(1)～(4)のいずれかに相当する課程を修了した者 (6) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校の専攻科の課程を修了した者又は平成〇〇年3月修了見込みの者 (7) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者又は平成〇〇年3月修了見込みの者 (8) その他、大学の3年次に編入学できる資格を有する者 ※ 上記(1)の「他の大学において62単位以上を平成〇〇年3月までに修得見込みの者」が、入学試験に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は、合格を取り消します。 |
| | |



| 平成 32 年度入試（平成 31 年度実施）以降 | |
|--------------------------|--|
| 選抜方法 | 出願資格 |
| 一般選抜 | (略) |
| | (4) 高等専門学校、短期大学を卒業した者又は平成〇〇年3月卒業見込みの者 (略) |

※ 推薦選抜（情報工学部）の出願資格については、変更ありません。

(2) 選考方法

・情報工学部

| 平成 32 年度入試（平成 31 年度実施）以降 | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|----------|--|-----------|--|---------|--|-----------|--|
| 選抜方法 | 選考方法 | | | | | | | | | | |
| 推薦選抜・一般選抜 | <p>入学者の選考は、原則として第一志望学科（以下「学科」という。）において、調査書、自己申告書、TOEIC（IP可）のスコア及び面接試験の結果を総合して行います。なお、面接試験では、以下に示す各学科が定める口頭試問を行います。</p> <p>ただし、推薦選抜の出願資格「高等専門学校卒業（見込）者で、出身学校長の推薦を受けた者」に該当する者のうち、在学中の成績が優秀で、総合力が優れているものは、書類のみの選考によって面接試験を免除し合格とすることがあります。書類のみの選考によって面接試験を免除した者には、受験票送付時に面接試験を免除する旨を通知します。</p> | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>知能情報工学科</td> <td>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「情報基礎」の口頭試問を行います。</td> </tr> <tr> <td>情報・通信工学科</td> <td>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。</td> </tr> <tr> <td>知的システム工学科</td> <td>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。</td> </tr> <tr> <td>物理情報工学科</td> <td>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理」の口頭試問を行います。</td> </tr> <tr> <td>生命化学情報工学科</td> <td>面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理、化学、生物又は情報基礎」の口頭試問を行います。</td> </tr> </table> | 知能情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「情報基礎」の口頭試問を行います。 | 情報・通信工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。 | 知的システム工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。 | 物理情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理」の口頭試問を行います。 | 生命化学情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理、化学、生物又は情報基礎」の口頭試問を行います。 |
| | 知能情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「情報基礎」の口頭試問を行います。 | | | | | | | | | |
| | 情報・通信工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。 | | | | | | | | | |
| | 知的システム工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理又は情報基礎」の口頭試問を行います。 | | | | | | | | | |
| | 物理情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理」の口頭試問を行います。 | | | | | | | | | |
| 生命化学情報工学科 | 面接試験では、勉学意欲や専門に対する適性の試問、学習範囲の試問、「数学」、「物理、化学、生物又は情報基礎」の口頭試問を行います。 | | | | | | | | | | |

※ 工学部の選考方法については、変更ありません。

九州工業大学

工学部教務係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
電話 093-884-3332

情報工学部教務係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4
電話 0948-29-7512

入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
電話 093-884-3056